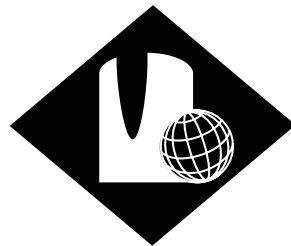


大阪歴史博物館年報

平成 25 年度



大阪歴史博物館

平成 26 年 6 月

目 次

はじめに	1
展観事業	2
資料収集	1 3
資料のデータ整備・貸出し・特別観覧	1 9
教育普及事業	2 0
学校連携事業	2 3
地域・その他連携事業	2 4
友の会関連事業	2 6
ボランティア関連事業	2 7
広報宣伝活動	2 8
刊行物	2 8
調査研究活動	2 9
委嘱・派遣依頼対応	3 4
視察対応一覧	3 5
平成25年度入場者数	3 5
条例と規則	3 6
運営組織	3 9
施設の概要	4 0

はじめに

平成 25 年度は指定管理期間 4 年間（指定管理者：公益財団法人大阪市博物館協会）の最終年度にあたり、組織目標として引き続き次の三点を掲げて活動した 1 年間であった。1. 繰り返し訪れても新たな発見が得られるよう、館蔵品を活用した季節感や話題性のある展示や定期的な展示更新を行い、その周知を図るなど常設展示の魅力アップをめざす。2. 特別展と関連した企画など特別展観覧者の常設展への誘導や、若年層・女性層など新たな観覧者の拡大、学校団体の利用促進、講演会など研究成果の積極的公開等により入館者数の増を図る。3. 事業効果の点検・評価を行うとともに各館や関係機関との連携等を積極的に行い、効果的・効率的な博物館運営を行う。以上を念頭に実施した事業の概要と成果について述べたい。

展示活動では、まず常設展示については時宜を得たテーマ展示を実施するなど、繰り返し来館してもらえる常設展示の維持運営をめざして昨年度同様 40 回弱の展示更新をおこなった。館蔵品・寄託品を活用した特集展示も 9 本実施した。展示替情報を得やすくするためHPの改良もおこない、本年度は昨年度比 108.6%の 226,808 人の常設展観覧者を得ることができた。特別展はアニメとコラボレーションした巡回展や他館へ巡回する自主企画展など 4 本を積極的に開催した。これにより観覧者は昨年度比 188.7%の 189,422 人へと大幅に増加した。さらに特別展示室を有効活用する特別企画展（常設料金）として「生誕 100 年記念 織田作之助と大大阪」を開催し、会期中の 9 月・10 月の常設展観覧者数は昨年同期のそれを上回った。

館蔵品関係では購入・寄贈による収集を継続し、826 点を加えたほか、修復も 72 点実施した。

調査研究活動では館予算による共同研究 3 本、基礎研究 3 本を実施した。このうち館蔵品・寄託品である安井家文書を題材にした研究は大阪市立大学と連携しながら特集展示・シンポジウム・古文書講座へと事業を展開させた。難波宮研究の一環である史跡難波宮跡公園の発掘調査についても継続実施し、後期難波宮の遺構を確認した。科学研究費補助金は 3 本が採択された。

教育普及・学習支援事業についてはのべ 2,500

回近い各種事業を開催し、30,000 人弱の参加者があった。学習情報センターなにお歴史塾では初めて年間を通して特集図書コーナーを設置し、図書利用の促進をはかった。ボランティアは例年の活動内容であったが、活動のべ人数は 6,500 人余と昨年度比 15%増と積極的参加が目立った。

広報宣伝活動としては、地下鉄車内における館周知の案内放送を通年で開始したほか、年間行事予定表の英文版制作、特別展の英文情報のHPへのアップなど外国人観光客誘致に取り組んだ。なお、10 階常設展示室についてはキャプションの 4 カ国語化が完了しており、今後さらなる対応を進めていく計画である。諸機関・諸団体との連携は、昨年に引き続き博物館事業のなかで幅広く実施した。新規としては関西大学大阪都市遺産研究センターとの共催により当館の館蔵品写真を活用した展示が実施された。所属財団が包括連携協定を結んでいる大阪市立大学との連携事業では学芸員養成講座や連携シンポ・講座に講師を積極的に派遣した。そのほかNPO団体・大阪市教育センターとの共催事業や研修などにも取り組んだ。友の会については今年度末をもって自主運営に移行することが決まり、今後は館は活動支援の立場にたつことになった。

前述のように、今年度は常設展示・特別展示ともに入館者数が伸びた点は大きな成果といえよう。とりわけ特別展はその点が顕著だったが、その背景には日本を訪れる海外からの観光客増加という社会全体の動きに加え、当館としては若い世代や女性層にも関心を持ってもらえる内容の特別展を意識的に選択し開催したことがあったと考えている。しかもその企画は単に娯楽的な内容に流れるのではなく、日本の伝統的な美意識・精神性・技術を来館者に認識してもらいたいから当館での開催を積極的に決めたものであった。それが功を奏した結果となったが、一方でさきに外部評価委員会から指摘を受けた館全体としてのリピーターの確保は、引き続き取り組んでいかなければならない課題といえる。

なお、4 年間の指定管理は 26 年 3 月末で終了したが、26 年度に延長されたことを付記しておく。

展 観 事 業

概 要

展示場は6～10階部分で、そのうち7～10階が常設展示、6階が特別展示場である。常設展示では、古代から近現代にいたる「都市・おおさか」の歴史を、実寸大再現・模型・大型映像等を用いた体験的展示と、各時代の豊富な実物資料の展示を通じて紹介している。観覧コースとして、実寸大再現や模型などを約1時間で観覧するハイライトコースと、実物展示資料も含め約半日で全てを観覧する全周コースを設定している。また情報検索端末を各フロアに設置し、観覧者が自らの関心に応じて学習を行えるようにしている。

常設展示

10階：古代フロア

◇「難波宮の時代」

ハイライトコースでは、奈良時代の後期難波宮大極殿をほぼ実寸大で再現するとともに、宮廷儀礼の再現映像を流している。また映像と映像とのインターバルには、展望窓から実際の史跡公園を展望することができる。

実物資料展示では、国の重要文化財に指定されている5世紀の船形埴輪や難波宮跡出土の遺物を展示している。



9階：中近世フロア

◇「大坂本願寺の時代」

中世の大坂の町の様子を、町並み、および大坂本願寺御影堂の復元模型や実物資料で紹介している。

◇「天下の台所の時代」

ハイライトコースでは、江戸時代の大坂の景観を、中之島の蔵屋敷や船場の町並み、長堀の住友銅吹所、道頓堀の角の芝居の復元模型や、壁面のグラフィックにより紹介している。

実物資料展示では、大坂の町・産業・芸能・学問などに関する資料により紹介している。



8階：「歴史を掘る」・特集展示室

◇「歴史を掘る」

発掘現場の再現を行い、ワークシートやパズルなど、考古学について体験的に学べる場を提供している。

◇特集展示室

館蔵品のコレクション展示や大阪に関するテーマ展示などのミニ企画展を、1～2ヵ月程度の期間で実施している。



7階：近現代フロア

◇「大大阪の時代」

ハイライトコースでは、近代都市大阪の諸様相を、公設市場・町工場・「心ぶら」などの実寸大で再現している。

実物資料展示では、政治・経済・くらし・文化に関するさまざまな資料によって、諸様相を多方面から紹介している。



難波宮跡遺跡展示

博物館・NHK大阪放送会館の敷地には、前期難波宮の大規模な倉庫群（内裏西方官衙）があった。建物の地下には、発掘調査で明らかになった倉庫や塀などの遺構が保存されている。床面には遺構の位置を表示しているほか、一部の遺構については地階に見学スペースを設け、実際に見ることができる。見学スペースの遺構については、保存状況を確認しながら定期的にメンテナンスを行っている。

また博物館の敷地南側は遺跡公園として整備されており、発掘調査で見つかった古墳時代の大型倉庫群 16 棟のうち 1 棟が復元展示されている。学芸員とボランティアによるガイドツアー「難波宮遺跡探訪」を実施している。



タイムカプセル EXPO'70

昭和45年(1970)日本万国博覧会が開催された際、毎日新聞社と松下電器産業により、当時の生活・文化を代表する2,098点の品々を収納したタイムカプセルを、大阪城天守閣前に埋設する事業が実施された。現地には2基が埋設されているが、当博物館の1階北東のエスカレーター奥にこれと全く同じものを展示している。



常設展示更新の状況

階	コーナー	展 示 物	担当	展示期間
10	特設コーナー	上町台地北端の古墳関連遺物	寺井	前年度～5月27日
10	特設コーナー	難波宮で見つかった建築金物	李	5月29日～8月26日
10	特設コーナー	古墳時代から古代の刀子	杉本	8月28日～9月23日
10	難波京の風景	大阪市指定文化財「僧寺」墨書土器(土師器甕)	寺井	8月28日～
10	特設コーナー	前期難波宮のミニチュア瓦	村元	9月25日～12月9日
10	特設コーナー	古代の「まつり」と馬	豆谷	12月11日～
9	町人の文化	修行者のすがた	岩佐	前年度～4月29日
9	町人の文化	松本奉時と伊藤若冲	岩佐	5月22日～7月22日
9	天下一の都市	武家の屋敷を飾った瓦	加藤	5月29日～
9	町人の文化	円山応挙、呉春と大坂の絵師	岩佐	7月24日～10月7日
9	まちの生活	大坂の“おかげまいり”と“ええじゃないか”	西本	9月11日～10月21日
9	まちの生活	大塩平八郎の乱	西本	10月23日～12月9日
9	まちの生活	雛人形の展示	中野	1月29日～3月17日
7	美術工芸の諸相	松竹梅図三枚襲振袖(途中展示替)	中野	前年度～5月6日
7	近代都市の建設	泉布観関連資料の公開	酒井	前年度～5月20日
7	美術工芸の諸相	船場の『ごりょんさん』が使った髪飾りと喫煙具	中野	4月3日～6月10日
7	美術工芸の諸相	昭和10年代の『銘仙』	中野	5月8日～7月15日
7	近代都市の建設	天保山と築港の歴史	酒井	5月31日～8月5日
7	近代都市の建設	柳原良平氏の天保山・築港ゆかりの作品公開	酒井	6月19日～8月5日
7	写真パネルコーナー	戦後大阪の祭り―三村幸一撮影資料より―	澤井	7月3日～
7	メディアと流行	配布文書からみる選挙の歴史	飯田	7月3日～9月23日
7	鴻池家の生活用具	ガラス器など	船越	7月24日～12月16日
7	映像コーナー	戦前の8mmフィルム 戦前のコウノトリ	船越	7月31日～3月3日
7	近代都市の建設	都市を築いた建築材料	酒井	8月7日～12月16日
7	美術工芸の諸相	建具雛型	酒井	8月8日～10月28日
7	美術工芸の諸相	藪 明山(途中展示替)	中野	9月11日～
7	メディアと流行	災害とメディア	飯田	9月25日～11月4日
7	美術工芸の諸相	切嵌細工	伊藤廣	11月6日～1月13日
7	都市の民間信仰	馬の郷土玩具	伊藤廣	12月11日～1月27日
7	引札と広告	新年の引札	船越	12月18日～1月27日
7	鴻池家の生活用具	冬の調度品	船越	12月18日～2月24日
7	都市の民間信仰	昭和初期の大阪の趣味家が発行した宝船	伊藤廣	1月29日～2月24日
7	引札と広告	節分丸かぶり寿司チラシ	船越	1月29日～2月24日
7	美術工芸の諸相	押絵雛・雛百種	中野	1月29日～3月22日
7	映像コーナー	戦前の8mmフィルム 春の京都・奈良	船越	3月5日～
7	美術工芸の諸相	建築家・中村順平	酒井	3月22日～

1階エントランスでの市内発掘調査成果等のポスター展示

展 示 名 称	展示期間
弥生時代のムラが明らかに ―平野区瓜破遺跡の発掘調査成果 写真展―	前年度～5月31日
四天王寺の南方で7～8世紀の建物群 ―天王寺区北河堀町所在遺跡の発掘調査成果―	6月1日～9月23日
特集展示なにわの考古学2013紹介ポスター	9月25日～11月4日
大坂城の発掘調査 最新ニュース1 ―天守台の南東で徳川期の石組溝と堀跡を発見―	12月12日～3月31日

特集展示

8階の特集展示室では、常設展の魅力をより高めるため、常設展の内容を掘り下げたものや季節に合わせた企画などを順次開催している。以下では平成25年度に行った展示を紹介する。

■和田呉山と仏の絵画

会 期：平成25年2月27日(水)～4月8日(月)
出品点数：約30点
担 当：岩佐伸一
(詳細は平成24年度年報を参照)

■修復品・新収品 お披露目展

会 期：平成25年4月10日(水)～6月10日(月)
出品点数：修復品3件 新収品14件
担 当：伊藤 純

博物館が所蔵している資料は、長い年月を経たものが多く、表面がひび割れていたり、錆や汚れによって状態の良くないものもある。こうした資料を修復し、将来に伝えていくことは博物館の重要な仕事のひとつである。修復を終えた資料3件を公開した。また、近年当館の所蔵となった資料14件をお披露目した。



◇おもな出品資料

修復品

- ・錠 (朱塗唐櫃付属品) 室町時代
- ・獅子図 竹内栖鳳筆 明治35年(1902)頃
- ・8mm フィルム 昭和戦前期

新収蔵品

- ・広形銅矛 弥生時代
- ・魚楽図屏風 李氏朝鮮王朝時代
- ・芝山象嵌蒔絵箏 明治時代中期
- ・祭り提灯 昭和戦前期
- ・抜きたがね 昭和戦後期

◇展示解説

4月13日・27日、5月11日

■大阪の凧ー木村薫コレクションからー

会 期：6月12日(水)～8月5日(月)
出品点数：70点
担 当：伊藤廣之

凧は古代に中国から日本に伝わり、子どもの成長を祈る伝統行事など、信仰的な風習と結びついて庶民のなかに広まった。遊びとしての凧揚げは、江戸時代に大阪や江戸などの都市部で子どもだけでなく

大人の間でも流行し、禁止令が出るほどにさかんとり、江戸ではおもに正月に行われ、大阪では2月の初午に行われた。

本展では、日本やアジアの凧のコレクターであり、凧の再現研究にも取り組む木村薫氏の収集品や再現品のなかから、大阪を代表する「勝間いか」の凧絵の実物や、近世・近代の絵に描かれた大阪の凧の再現品などを中心に、「1. 描かれた凧とその再現」「2. 勝間いかとその周辺」「3. 泉州の凧」「4. 凧揚げの風景」の4章にわけて大阪府内の多彩な凧を紹介した。

◇おもな出品資料

勝間いか	金鷄・鯉抱き金太郎・蛸のいか
勝間いかの凧絵	蝶・かぶら売り
泉州の凧	だるまのぼり・三階松・福助・袖切り・仙花いか・扇いか・日の丸・いかのぼり・鬼の頭

◇展示解説

6月30日、7月28日、8月4日

■関東大震災90年記念 近現代大阪の地震

会 期：平成25年8月7日(水)～9月23日(月・祝)
出品点数：約40点
担 当：飯田直樹

大阪は約90年から150年おきにくり返し発生する南海地震や活断層による地震によって大きな被害を受けてきた。南海地震の発生が近づくと、内陸部で地震活動が活発化するという事も分かっており、すでに阪神・淡路大震災以降、西日本地域が地震の活動期に入ったと言われている。このような状況のなか、地震被害を中心にして大阪の歴史を振り返っておくことは、将来の巨大地震に備えるためにも必要なことといえよう。この展示では、幕末の安政南海地震から昭和南海地震までの大阪を襲った地震による被害の実態について、瓦版や写真、新聞資料などを通して紹介した。また、2013年は関東大震災から90年



目にあたるため、関東大震災時に大阪で救援活動に従事した様々な団体・人々の取り組みについても、当事者が残した資料を通して紹介した。

◇おもな出品資料

- ・地震鯨の取り調べ 安政2年(1855) 加藤茂弘氏(兵庫県立人と自然の博物館)蔵
- ・川口居留地ワレン邸濃尾地震被災写真(パネル展示) 明治24年(1891) 桃山学院史料室蔵
- ・北丹後地震翌日の朝日新聞 昭和2年(1927) 大阪市立大学学術情報総合センター蔵
- ・河内大和新聞当日の国民新聞号外 昭和11年(1936) 小林近現代資料文庫蔵

◇展示解説

8月25日、9月1日・22日・23日

■新発見! なにわの考古学 2013

会 期: 平成25年9月25日(水)~11月4日(月・振休)
出品点数: 約250点
共 催: 大阪市博物館協会大阪文化財研究所
担 当: 李 陽浩・大阪文化財研究所(大庭重信・小倉徹也・田中裕子・高橋 工・絹川一徳)

この特集展示では平成24年度に実施された大阪市内の遺跡発掘調査の成果を、大阪の地域的な特徴がうかがえる遺物・遺構を中心に紹介した。展示は第1章「弥生時代の大阪」、第2章「弥生~古墳時代の長原ムラ」、第3章「難波宮の時代」、第4章「中近世の大坂」で構成した。また、「市内各区の遺跡新紹介!」と題したミニ展示を行った。関連行事として、展示解説を3回、講演会「大阪の歴史を掘る 2013」を開催した。



◇おもな出品資料

- ・弥生時代前期末の土器群(平野区瓜破遺跡、弥生時代)
- ・弥生~古墳時代の墳墓から出土した土器群(平野区长原遺跡、弥生~古墳時代)
- ・難波宮跡出土の木製品(中央区難波宮跡、飛鳥~奈良時代)
- ・城下町の暮らしを支えた職人たちの手工業品(中央区大坂城跡・中央区大坂城下町跡、江戸時代)

◇関連するイベント

- ・講演会「大阪の歴史を掘る 2013」10月14日

◇展示解説

9月28日、10月19日・26日

■新発見史料からみる江戸時代の道頓堀

会 期: 平成25年11月6日(水)~12月16日(月)
出品点数: 約45点

担 当: 西本菜穂子、八木 滋

道頓堀は、江戸時代以来劇場を中心とした大阪でも有数の繁華街として知られている。道頓堀川は、東横堀川と木津川を結ぶため、今から約400年前の江戸時代初めに開削されその両岸が町家として開発されていった。その経緯は、道頓堀川の開削に関わり、大坂三郷南組惣年寄をつとめた安井家にのこった「安井家文書」(大阪歴史博物館蔵、大阪市指定有形文化財)によって断片的に知ることができた。近年、安井家の一族で江戸時代は囲碁の四棋家(本因坊・安井・井上・林)のひとつであった安井算哲を初祖とするお宅から大坂の安井家に関わる古文書が見つかった。調査したところ、ほとんどが当館で所蔵する「安井家文書」と一緒に保存されていたものであることがわかった。大坂に関する江戸時代初めの古文書が大量に見つかることは珍しく、道頓堀に関する新しい事実もたくさん明らかになってきている。本展示では、新たに発見された古文書や絵図を中心にその最新の研究成果をふまえて、江戸時代前半の道頓堀の開削や芝居地の様子を紹介した。



◇おもな出品資料

- ・道頓堀川大絵図 明暦元年(1655) 5月28日
- ・道頓堀川屋敷帳 元和7年(1621) 9月晦日
- ・道頓堀芝居名代并座本惣元帳 享保20年(1735)

◇関連行事

- ・シンポジウム「道頓堀の開削と芸能」12月1日
- ・連携古文書講座「新発見道頓堀関係古文書を読む」11月16日・23日・30日

◇展示解説

11月9日・16日・23日、12月8日・15日

■特集展示「近代建築の記憶」

会 期: 平成25年12月18日(水)~平成26年2月3日(月)

出品点数: 約50点

担 当: 酒井一光

大阪では、明治・大正・昭和初期の各時代、都市

の発展にあわせ、優れた近代建築が数多く建てられた。近年、これらの近代建築が注目を浴びるいっぽう、建て替えられるケースも増えている。大阪歴史博物館では、こうした近代建築を次世代に伝えるため、建築の忘れ形見ともいえるステインドグラスやテラコッタの装飾など、特徴的な一部分を収集しており、本展示では、これまで当館が収集した近代建築の一部分を中心に、関連する資料をまじえ、近代建築の魅力とその記憶の継承について紹介した。



◇おもな展示資料

- ・宇治電ビルディング 神像テラコッタ頭部 昭和12年(1937) 本館蔵 (関電不動産株式会社寄贈)
- ・八木通商大阪本社 (旧八木通商本店) 雷文テラコッタ 昭和4年(1929) 本館蔵 (オリックス不動産株式会社寄贈)
- ・双葉温泉ステインドグラス 昭和13年(1938) 本館蔵 (池永敏子氏・池永節子氏寄贈)
- ・大阪朝日ビル 幾何学文欄間 昭和6年(1931) 株式会社朝日ビルディング蔵

◇展示解説

12月23日、1月13日・25日、2月1日

◇関連行事

朝日ビルディング群記録映像上映会&トークショー
1月18日

■御所人形の世界

会 期：平成26年2月5日(水)～3月10日(月)
出品件数：50件
担 当：中野朋子

御所人形は、江戸時代の京都でつくられ始めた人形である。桐材などを彫刻して胡粉を塗り磨き上げた白い肌に特徴があり、もともとはこどもたちにふりかかる穢れや禍を代わりに受ける「形代」としての役割も担ったとされている。さまざまな呼称のある御所人形であるが、関西では大阪の伊豆蔵という人形



店が数多く取り扱ったため「いずくら人形」としても親しまれた。

本展では、我々の暮らしのなかにいまでも生き続ける人形文化に目を向けるきっかけとしてもらうために、当館所蔵の御所人形と関連資料を中心に、からくり人形、生人形、市松人形などさまざまな人形を紹介した。

◇おもな出品資料

着衣童子 (伝光格天皇より拝領) 本館蔵
水引手 三ツ折人形 犬千代丸 本館蔵
産衣這い這い 本館蔵

◇展示解説

2月11日

■幕末大坂の絵師 藪長水

会 期：平成26年3月12日(水)～4月14日(月)
出品点数：約30点
担 当：岩佐伸一

生誕200年を迎えた藪長水(1814～1867)の画業を紹介した。長水は、儒学者藪鶴堂の子として大坂に生まれ、大坂の唐画師岡熊岳に絵を学び、その没後は独自に研鑽を積んだ絵師である。



本展では、長水の山水画や花鳥画、肖像画をはじめとする人物画を紹介し、画業の多彩さと画技の高さを示した。あわせて、長水が描いた象図が残ることから、慶応2年(1866)に大坂の難波で見世物になった象の絵画を集めたコーナーを設け、観覧者が近世絵画に親しみを持てるように努めた。

展示には「長水の多彩な画業」「師の岡熊岳」「なにわの象」「文献に見る長水」のコーナーを設け、さまざまな角度から長水の画業を概観し、かつ文字資料の面からも長水の姿を紹介した。

◇おもな出品資料

草花図 藪長水筆 本館蔵
(藤田富美恵氏寄贈)
飲中八仙図 藪長水筆 個人蔵
富士河望嶽図 藪長水筆 本館蔵
象図 藪長水筆 個人蔵

◇展示解説

3月15日・21日

特別企画展

生誕 100 年記念 織田作之助と大大阪

会 期：平成 25 年 9 月 25 日(水)～10 月 18 日(金)

開催日数：24 日

入場者数：15,872 人（期間中の常設展示入場者数）

展示点数：120 件（約 200 点）

担 当：八木 滋、船越幹央

主 催：織田作之助生誕 100 周年記念事業推進委員会

共 催：大阪歴史博物館

本展は、織田作之助生誕 100 周年記念事業推進委員会が主催する展示を、当館の特別企画展として実施した。

「織田作」の愛称で知られる作家・織田作之助（おだ・さくのすけ）は、大正 2 年(1913) 10 月 26 日に大阪市南区生玉前町（現・天王寺区）で生まれた。代表作『夫婦善哉』のように大阪を舞台として市井に生きる人びとをいきいきと描いた作品を数多く残し、昭和 22 年(1947) 1 月に 33 歳の若さで帰らぬ人となった。その作品は、死後もいくたびか映画やドラマになるなど、その時どきの時代に合わせて人びとに親しまれ続けている。

織田作之助の生きざまを、その著作・原稿・書簡や彼が走り抜けた「大大阪」という時代背景を通して多角的に展示した。大阪に生まれ育ち、大阪を愛した織田作之助を通して、大阪の町と人、文学のロマンに思いをはせていただける展示内容とすることを意図した。

展示構成は、「夫婦善哉コーナー」、「生前の刊行本と掲載雑誌」、「織田作之助の生涯」1・2、「織田作時代の大阪の姿」、「廻る人びと」1～4、「織田作没後の刊行本と評伝」、「織田作と現代」とし、それぞれ原稿や図書・雑誌、書簡、写真などを中心に、織田作所用品や同時代の絵画資料や関連史料などを展示した。また、今回の展示のための調査で新たに発見された「夫婦善哉」などの草稿や日記なども展示した。

◇おもな展示資料

- お多福人形 いっぷく美術館蔵
- 織田家家計簿 大阪府立中之島図書館蔵
- 織田作所用の注射器とアンプル
日本近代文学館蔵
- 「夫婦善哉」草稿
大阪府立中之島図書館・個人蔵
- 鍋井克之「道頓堀」「戎橋夜景」
大阪市立美術館蔵

◇関連するイベント

- ・講演会 9 月 29 日
- ・蓄音器・オダサク・ミュージック 10 月 5 日
- ・ラジオ放送作家織田作之助
—BK ドラマ・音楽再現— 10 月 12 日
- ・講談織田作之助 with 道頓堀ジャズ 10 月 13 日



今回の展示では、生誕 100 年を迎えるにあたって、

第48回特別展 幽霊・妖怪画大全集

会 期：平成25年4月20日(土)～6月9日(日)

開館日数：45日間

入場者数：67,964人

出品点数：約200点

図 録：A4判204頁

担 当：岩佐伸一、西本菜穂子、酒井一光

本展は、日本画家の吉川観方（1894～1979）が収集した幽霊や妖怪に関する絵画作品を展示した。観方は服飾の歴史や時代風俗の研究家としても知られ、研究の途上において日本の幽霊や妖怪にも関心を持ち、資料の収集に没頭した。

本展では、現在は福岡市博物館に所蔵される観方の収集品から、伊藤若冲や円山応挙らの著名な絵師をはじめ、個性的な浮世絵師として人気のある歌川国芳とその一門が描いた幽霊や妖怪画を主として、多数の作品を紹介した。

併せて、大阪ゆかりの幽霊や妖怪に関する資料による大阪限定の特設コーナーを設けた。

展覧会の会場には、出品作品から事前に主催者側

主 催：大阪歴史博物館、毎日新聞社

後 援：テレビ大阪

で選抜した幽霊・妖怪を「YK I 48」と名付け、会場には順位を決める総選挙の投票所を設置し、楽しみながら観覧できるように努めた。なお「YK I」とはYOKAIの略である。

◇おもな展示資料

- ・相馬の古内裏 歌川国芳筆 江戸時代後期
福岡市博物館蔵
- ・付喪神図 伊藤若冲筆 江戸時代中期
福岡市博物館蔵
- ・野晒図 伊藤若冲筆 寛政6年(1794)
西福寺蔵
- ・大蛇骨 顕証寺蔵
- ・幽霊図十二幅対より 皿屋敷お菊亡霊図
大念佛寺蔵

◇関連するイベント

- ・イベント新潟市旧巻町の「のぞきからくり」
実演 3月9日、3月10日
- ・オープニングコンサート
第21回うえまちコンサート 4月20日
- ・講演会「幽霊と妖怪画の世界」4月28日
- ・学芸員による展示解説
5月3日、5月10日、5月17日
- ・特別企画 YK I 48 (ワイケーアイフォーティーエイト) 総選挙



第49回特別展 エヴァンゲリオンと日本刀展

会 期：平成25年7月3日(水)～9月16日(月・祝)

※9月16日は台風のため開始を30分遅らせた。

入場者数：52,673人

開催日数：66日間

出品点数：約30点

図 録：A4判64頁

この展覧会は一般社団法人全日本刀匠会事業部と劇場版アニメ「エヴァンゲリオン新劇場版」とのコラボレーション企画である。エヴァンゲリオンは、1995年にTV放映されたアニメであり、当時の若者に大きな影響を与えた。その後、同アニメは劇場版として映画化され、2012年11月には最新作「エヴァンゲリオン新劇場版：Q」が公開されるなど、多くのファンに支持されている。

この展覧会では、新進気鋭の現代刀匠たちが「エヴァンゲリオン新劇場版」の世界からインスピレーションを受けて挑んだ新作刀を展示した。作品は新劇場版エヴァンゲリオンに登場するロンギヌスの槍やプログレッシブナイフ、また、エヴァンゲリオンから着想を得て作られた零号機仕様 脇指(龍と槍)、初号機仕様 脇指(序・破・急)、式号機使用 短刀(式波・プラグスーツ)、さらに、エヴァンゲリオンのアナザーストーリーである「エヴァンゲリオンアニメ」の中に登場するカウンターソード、マゴロクソードなどであった。これらの作品の背景にアニメの場面のパネルを置くことで、エヴァンゲリオンのさまざまな場面に思いをよせながら、日本刀の新たな世界を鑑賞できるようにした。

これらの現代刀とともに、日本刀の歴史を知るための工夫として、広島の上野貞直刀匠の作品を主体とした時代ごとの「写し」を展示して刀姿の変遷について概説し、ロンギヌスの槍の製作や日本刀製作のDVDを上映して、古式鍛錬法や日本刀の製作について紹介した。さらにイベントでは若手の刀匠によるトークショーを行い、日本刀の見方やおもしろさについて刀匠自らの経験や工夫を伝えた。

このため、現代刀作品が中心の展覧会であると同時に、日本刀の入門編として意義深い展覧会となった。人気アニメとのコラボレーションということもあり、10代後半から30代にかけての若い観覧者が多く、この年代に向けて日本刀の普及・啓発を行えた点大きい。また、海外からの来館者のために、会場配置図や刀の種類・部位の名称、製作方法などを記載した英語のパンフレットを用意することで日本刀の紹介につとめた。

担 当：杉本厚典・加藤俊吾・内藤直子

主 催：大阪歴史博物館、テレビ大阪、テレビせとうち、一般社団法人全日本刀匠会事業部

企画協力：グラウンドワークス：

協 力：テレビせとうちクリエイト、電撃ホビーマガジン

◇おもな出品作品

- ・ロンギヌスの槍
- ・式号機仕様 短刀<式波・プラグスーツ>
- ・零号機仕様 脇指<龍と槍>

◇関連するイベント

- ・刀匠のトークショー「なぜ？エヴァンゲリオンと日本刀～日本刀の入口はどこ～」 7月14日
出演者：月山貞伸(セカンドインパクト短刀製作者)、川崎晶平(カウンターソード製作者)
- ・エヴァ展オリジナルプレートへの銘切り
期間中の土・日・祝日および7月3日、8月12日・14日・15日・16日



第50回特別展

戦国アバンギャルドとその昇華 変わり兜×刀装具

会 期：平成25年11月2日(土)～12月8日(日)

開催日数：32日間

入場者数：38,523人

出品点数：約250点

図 録：A4版150頁

担 当：内藤直子・村元健一

主 催：大阪歴史博物館、産経新聞社

後 援：サンケイスポーツ、夕刊フジ、サンケイリビング新聞社、関西テレビ放送、ラジオ大阪

変わり兜とは、さまざまな物象を立物などで飾った兜や、鉢自体を何かの形に作り込んだ兜など、ユニークな造形でひと目を惹く兜を総称して呼び慣わしているが、そのバラエティに富んだ造形は、今日の私たちの目をも楽しませている。一方、戦国時代から江戸時代にかけて、刀の外装、ことに鐔などの装剣金具類の世界では、所有者のステイタスを表すべく、贅を尽くした細工の数々がほどこされるようになり、その高い技術と豊かな造形は、サムライ・アートとして海外でも高い人気を博している。今回の展覧会では、戦に臨んだ武将達の緊張感から紡ぎ出された究極のかたちとしての変わり兜や泰平の世に開花したデザイン性の強い変わり兜、極小の世界に壮

大な世界を繰り広げる多彩なデザインの刀装具、さらに関西大学名誉教授であり考古学の大家であった故・末永雅雄氏が収集した刀装具のコレクションを含む約250点を一堂に集め展示した。

展覧会広報においては展覧会ブログを用いた即時かつ臨場感のある情報発信を行い、また会場設営においては、立体作品をより仔細に鑑賞できる4面ガラスのケースを多用して時代の流れをわかりやすく比較・紹介するようつとめた。

なお、本展覧会は当館終了後、静岡県三島市の佐野美術館へ巡回展示を行った。

◇主な出品資料

- ・重要文化財 黒漆塗桃形大水牛脇立兜 福岡市博物館蔵
- ・重要文化財 大円山形星兜 淡嶋神社蔵
- ・重要文化財 緋威五十二間四方白星兜 文化庁保管
- ・重要文化財 黒糸威胴丸具足 個人蔵
- ・重要文化財 関ヶ原合戦図屏風 大阪歴史博物館蔵
- ・重要文化財 三巴文鐔 東京国立博物館蔵
- ・重要文化財 秋草文黒漆太刀拵 佐野美術館蔵
- ・重要文化財 瑞雲花文七宝鐔 個人蔵
- ・重要文化財 金庄出亀甲繫文腰刀拵 個人蔵
- ・重要文化財 睡布袋図二所物 個人蔵

◇関連イベント

- ・記念演奏会「鉄を極める・明潤琴演奏会」
演奏：藤本潔氏・久保比呂誌氏 11月8日
- ・記念講演会「変わり兜と戦国武将」
講師：須藤茂樹氏(四国大学専任講師) 11月24日
- ・学芸員による展示解説 11月15日
- ・ひこにゃん歴博に登場 11月16日
- ・兜レプリカ着装体験 会期中の土日祝
- ・顔出し看板で武将になりきろう！ 会期中随時



第51回特別展

手塚治虫×石ノ森章太郎 マンガのちから

会 期：平成26年1月15日(水)～3月10日(月)

開催日数：48日間

入場者数：30,262人

展示点数：約160件

図 録：A4版236ページ、別冊B5判76ページ

担 当：澤井浩一・加藤俊吾

現代のマンガは、震災復興のシンボルになるほど大きな影響力をもち、また日本発の文化として世界的に受け入れられている。こうしたマンガの地位確立は、その可能性を大きく広げた「マンガの神様」、大阪府出身の手塚治虫と、その可能性に反応しマンガを育て上げた「マンガの王様」、宮城県出身の石ノ森章太郎の存在を抜きに語ることはできない。

この展覧会は、二人のマンガ家に焦点をあて、「鉄腕アトム」、「ブラック・ジャック」、「サイボーグ009」、「仮面ライダー」など代表作の原画や映像作品等を通じて、二人の歩みを紹介し、戦後のストーリーマンガの誕生から、アニメ・特撮などメディアミックスに拡大するマンガの進展、国内外の現代アーティストにまでおよぶマンガの影響力を振り返り、「マンガのちから」の源流を探るものであった。

展示構成は、

「プロローグ ここから はじまり」、

「第1部 二人の出会い マンガ誕生」、

「第2部 爆発するマンガ 時代への挑戦」、

「第3部 “ちから”の本質対決」、

「第4部 未来へ生き続ける“ちから” 現代作家によるオマージュ作品集」

からなり、出品物はマンガ原稿を中心とし、アニメや特撮の映像も数多く用いた。多くのマンガ家を輩出し伝説となったトキワ荘の復元も話題となった。

◇おもな出品資料

- ・手塚治虫「鉄腕アトム」直筆原稿 連載時期：『少年』1952年4月号～1968年3月号他(手塚プロダクション)
- ・石ノ森章太郎「サイボーグ009」直筆原稿 連載時期：『週刊少年マガジン』1966年27号30号～1967年13号他(石森プロ)
- ・手塚治虫「リボンの騎士」直筆原稿 連載時期：

『なかよし』1963年1月号～1966年10月号(手塚プロダクション)

- ・石ノ森章太郎「龍神沼」直筆原稿 1961年『少女クラブ』夏休み増刊号掲載(石森プロ)

◇関連するイベント

- ・映画会「手塚治虫×石ノ森章太郎 アニメのちから」上映作品：「W3(ワンダースリー)」、「リボンの騎士」、「バンパイヤ」、「佐武と市捕物控」(各1話ずつ) 1月25日
- ・手塚プロダクションと石森プロの担当者による展示解説 2月15日(関東地方の大雪の影響により中止)

特別展 The Power of Manga: Osamu Tezuka and Shōtarō Ishinomori
手塚治虫×石ノ森章太郎
マンガのちから

2014年(平成26)
1/15(水)→3/10(月)
大阪歴史博物館 6階 特別展示室
開館時間/午前9時30分～午後5時(休館日午後1時まで)
※土・日、入館は無料です

観覧料/
大人 1,200円(1,080円)
高校生・大学生 800円(720円)
【小学生】
大人 1,000円
高校生・大学生 600円
※小学生20名以上は団体割引あり。
※小学生以下、障がい者手帳等お持ちの方は(お連れの方を除く)半額です。
※大層予約の多い日は上記より大人料金は、

【増設展示の観覧料】
大人 1,680円(1,620円)
高校生・大学生 1,120円(1,080円)
※1月28日以上の団体割引あり。
※中学生以下、障がい者手帳等お持ちの方は(お連れの方を除く)半額です。
※大層予約の多い日は上記より大人料金は、

注：本展覧会開催期間、本館は入館無料
※本展覧会とは別
※本展覧会とは別
※本展覧会とは別
※本展覧会とは別
※本展覧会とは別

大阪歴史博物館
Osaka Museum of History

資料収集

資料収集

平成 25 年度は、購入・寄贈によって新たに 392 件 826 点の館蔵品を加えた。内容は一覧の通りである。これらの収集資料にあたっては、外部に依頼した委員による資料収集委員会を開催して収集審査を行った。

●平成 25 年度の収蔵資料点数

部 門	寄 贈	購 入	移 管	合 計
歴 史	199	0	0	199
美 術	144	5	0	149
考 古	3	0	0	3
民 俗	4	0	0	4
芸 能	258	0	0	258
建 築	213	0	0	213
	821	5	0	826

●館蔵品総点数（平成 26 年 3 月 31 日現在）

部 門	寄 贈	購 入	移 管	合 計
歴 史	66,089	9,124	86	75,299
美 術	5,431	1,632	3	7,066
考 古	7,025	4,765	6,178	17,968
民 俗	4,535	2,485	2	7,022
芸 能	10,328	1,029	3	11,360
建 築	5,458	0	27	5,485
	98,866	19,035	6,299	124,200

燻 蒸

博物館の新規受入資料に対する各種害虫及びカビの駆除のために、燻蒸庫燻蒸を 7 月、11 月、3 月の 3 回実施した。また、7 月から 9 月に収蔵資料の保全のために、収蔵庫内にて生物（歩行・飛翔虫）の生息状況並びに空中浮遊・付着菌類の捕獲・採集調査と目視調査を実施した。

大阪歴史博物館資料収集方針

大阪は、日本の歴史のなかで、古代から現代にいたるまで重要な役割を果たしてきた都市である。難波宮の宮殿が営まれた古代、大坂本願寺の寺内町がつくられた中世、天下の台所として繁栄した近世、そして工業都市として発展した近代・現代と多様な展開をみせた。

大阪歴史博物館は、このような「都市おおさか」の歴史を紹介する博物館であり、郷土大阪を中心とする地域の歴史と文化について広く市民に紹介し、理解を深めることを事業運営の基本方針としている。こうした趣旨に沿った資料収集は、失われゆく資料の保存・研究の観点を含めて重要なものである。よって、以下の条項に基づき博物館資料を収集する。

記

1. 難波宮とその研究史を理解する上で重要な資料を収集する。
2. 大阪の歴史と文化の発展を理解する上で重要な有形文化財、およびその理解を高める比較資料を収集する。
3. 大阪にとって芸術上価値の高い資料、およびその理解を高める比較資料を収集する。
4. 大阪に暮らす人々の生活の推移を理解するために必要な有形・無形文化財を収集する。
5. 大阪の景観、人物、無形文化財等の写真、映像などの資料を収集する。

新収館蔵資料一覧

購入

●美術

朝鮮通信使関係資料	
瀟湘八景図屏風 南溪筆	10 曲 1 隻
葡萄図屏風 崔爽煥筆	10 曲 1 隻
葡萄図屏風 崔爽煥筆	8 曲 1 隻
文房具図屏風	8 曲 1 隻
文房具図屏風	8 曲 1 隻

寄贈

●歴史

◇上田賢士氏寄贈資料	
上田宏猷所用大礼服	1 式

◇木村恭平氏寄贈資料	
通天閣御案内	1 部
通天閣展望券	1 綴
東京タワー展望券	1 枚
東京タワー展望券	1 枚
東京タワー展望券	2 枚
名古屋テレビ塔の御案内	1 部
名古屋城入苑券	1 枚
大阪城天守閣観覧券	1 枚

◇阪下俊子氏寄贈資料	
寄書き日の丸	2 流
支那事変記念アルバム	1 冊
吉田静江写真	1 枚
肩章	2 点
略章	1 点
日本赤十字社記章	1 点
折畳式国旗	1 流
君が代国旗	1 流
日の丸扇子	1 握
勲五等瑞宝章之証	1 通

◇佐藤清子氏寄贈資料	
南の大火絵葉書	4 枚
フランス製ホチキス 37mm 砲徹甲榴弾	1 点

◇中井健二氏寄贈資料	
大坂市中放火乱暴大塩平八郎之始末	1 冊
日本国勢調査記念録	3 冊
絵葉書アルバム	4 冊

◇永留由子氏寄贈資料	
第二回阪和沿線青年団踊躍演大会手拭	1 本
第三回月見踊躍演大会手拭	1 本
第四回阪和浜寺クロンボ大会手拭	1 本

◇羽場究氏寄贈資料	
万博写真アルバム	2 冊
万国博見学旅行ハンドブック	1 綴
菊里高校万博校章	1 枚
スタンプ帳	2 冊
昭和十年度府下中等学校入学案内	1 部
大阪都市計画地域図	1 枚
大阪市営電車路線図	1 部
近畿日本鉄道案内図	1 枚
大軌参急電車沿線図	1 枚
番地入東京市全図	1 枚

◇肥田照子氏寄贈資料	
学窓の思ひ出	1 冊
旅のしをり	1 冊
翠雲留影	1 冊
肥田三郎宛書簡	1 通

◇藤原誉子氏寄贈資料	
日本万国博覧会公式ガイド	1 冊
万博スタンプ帳	1 冊
万博パビリオンパンフレット	43 点
万博入場券	2 枚

東亜航空搭乗券・タグ	2 点
万博レシート	8 枚
日本万国博覧会ミニマップ	1 部
万国博へのおさそい	1 冊
万国博がやってくるチラシ	1 部
万国博会場あんない図	1 枚
万国博記念回遊券	1 部
こんにちは！ MEMO	1 冊
万博撮影ガイド	1 冊
見よう写そうフジカラープリントチラシ	1 枚
万博会場バス時刻表	1 枚
松下館万松庵入場券	2 枚
万博パビリオン袋・包紙	5 点
ハワイチラシ	1 枚
サントリーパビリオンコースター	1 点
帽子	1 点
万博会場写真	3 枚

◇星野満氏寄贈資料	
町籍簿（森南一丁会第参隣組分）	1 冊
御香奠帳（星野利一葬儀分）	1 冊
御会葬者芳名録（星野利一葬儀分）	1 冊
御弔問者芳名録（星野利一葬儀分）	1 冊
会計帳（星野利一葬儀分）	1 冊
御焼香順位（星野利一葬儀分）	1 冊
御香典帳（星野利一葬儀分）	1 冊
買物帳綴じはずれ	1 点
辞令（大峰山行者講社本部櫻本坊→星野利一）	2 通
星野利一葬儀弔辞（大峰山櫻本坊第 65 世良海）	1 通
星野利一葬儀会計記録	1 通
大阪市城東区今福中老丁目 119 番地合併分割実測図	1 枚
不動産売買契約証書	1 通
戦没者追弔法要案内	1 通
星野利一筆「常念寺新築法要祝辞」原稿	1 綴
供養料領収書	2 通
書状（西儀旅館→星野利一妻）	1 通
御香奠帳（星野金蔵葬儀分）	1 冊
大和講員者芳名録（星野金蔵葬儀分）	1 冊
会計帳（星野金蔵葬儀分）	1 冊
買物帳（星野金蔵葬儀分）	1 冊
御会葬者芳名録（星野金蔵葬儀分）	1 冊
御焼香順位（星野金蔵葬儀分）	1 冊
祖父忠助二拾参回忌会計記録	1 冊
御香奠帳（星野修三葬儀分）	1 冊
御香奠帳（丹羽徳次郎葬儀分）	1 冊
御会葬者芳名録（丹羽徳次郎葬儀分）	1 冊
御焼香順位（丹羽徳次郎葬儀分）	1 冊
会計帳（丹羽徳次郎葬儀分）	1 冊
戸籍簿（丹羽徳次郎分）	2 通
葬儀関係諸事記録帳（草竹歛蔵葬儀分）	1 冊
買物帳（草竹歛蔵葬儀分）	1 冊
芳名帳（故陸軍上等兵草竹三造葬儀分）	1 冊
御香奠帳（星野トメ葬儀分）	1 冊
御会葬者芳名録（星野トメ葬儀分）	1 冊
会計帳（星野トメ葬儀分）	1 冊
弔問者芳名帳（星野トメ葬儀分）	1 冊
買物帳（星野トメ葬儀分）	1 冊
御焼香順位（星野トメ葬儀分）	1 冊

◇松村長二郎氏寄贈資料	
摂州平野郷町丁銀手形	4 枚
銭札（享保 15 年）	4 枚
参会勘定帳	1 冊
常会議事録（京町二三四五丁目町会第 12 組）	1 冊
衣料切符	5 枚
第一種軍隊手帳（松村政太郎分）	1 冊
松村政太郎肖像写真	1 葉
阪神電車四区間普通定期券（松村政太郎分）	1 枚
証紙貼付銀行券（10 円）	1 枚
罹災者物資購入券（塩路みよ分）	1 枚
米穀購入通帳（松村長次家分）	1 通
配給記録簿	1 冊
買物台帳（井手質屋）	1 冊
取引通帳	1 通

●美術

◇武内文子氏寄贈資料

黒地扇面尽くし文様染繡打掛	1 領
薄水地桐文様染繡打掛	1 領
白無垢	1 領
総鹿子群鶴文様間着	1 領
総鹿子鳳凰若松文様下着	1 領
婚礼用髪飾り一式	1 式
染分水裂文様着物	1 領
碧地梅文様着物	1 領
黒地千羽鶴文様染着物	1 領
紫地唐草文様着物	1 領
竹によろけ縞模様着物	1 領
緑地麻ノ葉文様紋着物	1 領
灰色地波文様着物	1 領
濃紫地波文様着物	1 領
黒地波文様着物	1 領
矢羽根文様着物	1 領
縞文様着物	1 領
赤紺縞地に花文様織着物	1 領
濃緑地菊花文様染着物	1 領
紫地花菱文様着物	1 領
濃紫地着物	1 領
緑地扇面散らし文様着物	1 領
濃紺地格子文袖着物	1 領
エメラルド色草花文様単衣着物	1 領
薄茶地縞文様染着物	1 領
黒地十字文様単衣着物	1 領
黒地染分蝶文羽織	1 枚
紫地梅文様染羽織	1 枚
鈍色地花丸文様染羽織	1 枚
濃紫地色紙紅葉文様染羽織	1 枚
黒地震に紅葉文様染羽織	1 枚
黒地震文様織羽織	1 枚
黒地渦文様織羽織	1 枚
黒地流水に桜花文様単衣羽織	1 枚
濃緑地水玉文様絞道行コート	1 枚
濃紫地道行コート	1 枚
鶯色地震に葛文様染道行コート	1 枚
黒地菱鶴文様染道行コート	1 枚
薄紫ピロード地麻葉文様道行コート	1 枚
黒ピロード地道行コート	1 枚
朱地樟玉文染名古屋帯	1 本
薄緑地手鞠に桜花文様染名古屋帯	1 本
黄地薔薇文様染名古屋帯	1 本
赤黒地麻ノ葉に花文様染名古屋帯	1 本
白地蝶蕨文様染名古屋帯	1 本
朱地草花文様染名古屋帯	1 本
煉瓦色地古代文様名古屋帯	1 本
黒地南蛮船文様名古屋帯	1 本
黒地鱗に桐文様名古屋帯	1 本
赤地格子柄名古屋帯	1 本
白地水辺風景文様染袋帯	1 本
白地花亀甲文に花の丸刺繡半襟	1 枚
白地格子に花文刺繡半襟	1 枚
赤地八重桜文刺繡半襟	1 枚
白地菊花文刺繡半襟	1 枚
薄紅地檜垣に梅桜文刺繡半襟	1 枚
白地撫子文様刺繡半襟	1 枚
白地に紅白綱文染半襟	1 枚
黒地立涌紋半襟	1 枚
白地麻ノ葉文様紋半襟	1 枚
薄紅地石畳紋半襟	1 枚
薄紫地総鹿子半襟	1 枚
紫地檜垣文刺繡半襟	1 枚
白地百合文様刺繡半襟	1 枚
白地花文刺繡半襟	1 枚
白地金銀菊文様刺繡半襟	1 枚
黄地雪片文様染半襟	1 枚
西田房子氏関係写真	34 枚
婚礼関係文書	20 点
形見分け請書	22 枚

◇樋口純一氏寄贈資料

住吉踊り図屏風 樋口篁緒筆	1 点
---------------	-----

●考古

◇水野正好氏寄贈資料

山根氏書簡 (山本博一宛)	1 通
---------------	-----

◇八木久栄氏寄贈資料

文化財功労者表彰記念品	1 点
梅花女子大学開学記念品	1 点

●民俗

◇株式会社つば善商店寄贈資料

火防陶器神社 提灯 つば善奉納	2 点
火防陶器神社 火要鎮扇子	1 点
阿波奴唄	1 点

●芸能

◇中井健二氏寄贈資料

SP レコード	83 枚
---------	------

◇中村知也氏寄贈資料

演劇舞台写真	85 枚
早川雪洲・栗島すみ子他プロマイド	6 枚
外国俳優プロマイド	31 枚
外国映画スチル写真	6 枚
映画案内 (ポスター写真・絵葉書)	23 枚
新劇案内葉書 宝塚国民座	2 枚
松竹・宝塚少女歌劇絵葉書	6 枚
御観劇おみやげ写真包紙 大阪歌舞伎座	1 点
能楽絵葉書 (熊坂・船弁慶)	2 枚
観光絵葉書	2 枚

◇西野博氏寄贈資料

SP レコード	11 枚
---------	------

●建築

◇池永敏子・池永節子氏寄贈資料

池永家住宅幣串 (明治 44 年)	1 点
池永家住宅幣串	1 点
池永家住宅古母板	2 点

◇歌寄春子氏寄贈資料

建築図画 “Temple De Jpiter” 歌崎昌太画	1 点
建築図画 “ORDRES DORIQUE ET IONIQUE AU PALAIS FARNESE” 歌崎昌太画	1 点
建築図画「玉蟲厨子之研究」下絵 歌崎昌太画	1 点
建築図画「玉蟲厨子之研究」下絵 歌崎昌太画 (トレーシングペーパー)	2 点
建築図画「玉蟲厨子之研究」構想画 中村順平画	1 点
スケッチブック (歌崎昌太「玉蟲之厨子」関係)	1 冊
建築図画 “TEMPLE DE JUPITER STATOR” 下絵 歌崎昌太画 (トレーシングペーパー)	2 点
横浜高等工業学校エスキス「職工住宅」課題答案 歌崎昌太画	1 点
横浜高等工業学校アナリチック問題「池畔ノ離レ家」答案 歌崎昌太画 昭和 12 年 6 月	1 点
横浜高等工業学校アナリチック問題「漁ノ家」答案 歌崎昌太画 昭和 12 年 7 月	1 点
横浜高等工業学校アナリチック問題「有蓋調馬場」答案 歌崎昌太画 昭和 12 年 9 月	1 点
横浜高等工業学校アナリチック問題「直線階段」答案 歌崎昌太画 昭和 12 年 6 月	1 点
横浜高等工業学校 第七回建築科大行進「日本文化ノ独立」ポスター	1 点
横浜高等工業学校 第八回建築科大行進「芸術之歓喜」ポスター	1 点
横浜高等工業学校 昭和十年度第七回記念祭行進曲総符	1 枚
横浜高等工業学校記念祭芸術行進『日本文化の独立』順路	1 枚
横浜高等工業学校記念祭芸術行進『日本文化の独立』英文案内新聞切抜 (横浜高等工業学校芸術祭)	7 枚
「檜」章・「建築」章	1 組
モノクロ写真 (中村順平)	4 点
カラー写真 (中村順平)	3 点
PROF. NAKAMURA'S NOTE 6	1 冊
中村順平先生米寿記念日本古典建築遺構建築図画展案内	1 式
中村順平生誕百年記念回顧展案内	1 式
芸術院会員中村順平展案内はがき	1 枚
中村順平『建築学』總説編	1 冊
中村順平『建築学』技術編	1 冊
中村順平『建築学』第三・四巻	1 冊

『曾禰達藏中條精一郎建築事務所作品集』	1冊	建築図画“ORDRE COMPOSITE A ROME”	1枚
伊藤三郎『線配景図学 陰影及濃淡』	2冊	建築図画“PROTIQUE D'OCTAVIE A ROME”	1枚
『横浜高等工業学校建築学科 建築競技設計図案』	1冊	守屋哲之助画	1枚
◇株式会社 朝日ビルディング寄贈資料		建築図画“ORDRE DORIQUE ET CORINTHIEN AU PALAIS DE VERSAILLES” 富岡衛画	1枚
大阪朝日ビル(朝日ビルディング)幾何学文欄間	2点	建築図画“VILLA MADAME A ROME” 池田秀夫画	1枚
大阪朝日ビル(朝日ビルディング)松竹梅文欄間	2点	建築図画“A PAVILION IN A GARDEN”	
大阪朝日ビル(朝日ビルディング)外装モザイクタイル	2点	by EARL MONTGOMERY	1枚
大阪朝日ビル(朝日ビルディング)塔屋EV機械室内装タイル	3点	建築図画“A CUPOLA” by ARTHEUR H.WELDO	1枚
◇田辺三菱製薬株式会社寄贈資料		横浜高等工業学校 十二時間エスキスエスキス	
旧小寺家住宅幣串	1点	「ガソリン販売所」 答案 坂本俊男画	1枚
◇永留由子氏寄贈資料		横浜高等工業学校 十二時間エスキスエスキス	
株式会社大阪ビルヂング創立十五周年記念アルバム	1冊	「田家の雪」 答案 北山賢朗画	1枚
大阪府立今宮中学校創立二十周年記念祝賀会絵はがき	3枚	横浜高等工業学校 十六時間エスキスエスキス	
		「軍馬の供養塚」 答案 蒲生久敏画	1枚
◇松本陽一氏寄贈資料		横浜高等工業学校 十六時間エスキスエスキス	
「巴里市大学街日本館外觀透視図」 中村順平画	1枚	「孔雀小屋」 答案 蒲生久敏画	1枚
ECOLE SUPERIEURE D'ELECTRICITE 立面図	1枚	横浜高等工業学校 十二時間エスキスエスキス	
ボザール設計課題平面図 中村順平画	1枚	「満州鉄道国貨客車内装飾」 答案 坂本俊男画	1枚
パノラマ館立面図 中村順平画	1枚	横浜高等工業学校 アナリチック問題	
ボザール設計課題平面図 中村順平画	1枚	「横濱復興大博覧会正門及圍障」 答案 安井善治郎画	1枚
Gland Magasin d'Aiyour d'Llui 立面図	1枚	横浜高等工業学校 アナリチック問題	
楼門立面スケッチ 中村順平画	1枚	「Une Cascade」 答案 八木章画	1枚
船内インテリア設計図/横浜高等工業学校建築祭		横浜高等工業学校 十六時間エスキスエスキス	
「光は東方より」スケッチ 中村順平画	1枚	「三等郵便局」 答案 T.OKAYASU 画	1枚
配置図兼平面図スケッチ 中村順平画	1枚	横浜高等工業学校 十六時間エスキスエスキス	
比叡山ホテル ロビー壁面下絵 中村順平画	1点	「三等郵便局」 答案 浪岡茂道画	1枚
檜章旗	1点	横浜高等工業学校 十六時間エスキスエスキス	
りおでちやねろ丸喫煙室 写真	1枚	「Marionnette 小劇場」 答案 松本陽一画	1枚
建築図画「天平時代之研究」構図下絵 中村順平画	3枚	横浜高等工業学校 十六時間エスキスエスキス	
建築図画「上古時代之研究」構図下絵 中村順平画	3枚	「祭典用御輿」 答案 松本陽一画	1枚
西洋古典建築図画構図下絵 中村順平画	3枚	横浜高等工業学校 十六時間エスキスエスキス	
横浜高等工業学校建築学科 建築競技設計問題用紙	1式	「梅林中の共同便所」 答案 浪岡茂道画	1枚
『建築学』草稿ノート 中村順平	2冊	横浜高等工業学校 十六時間エスキスエスキス	
『SYNTHESE』草稿ノート 中村順平	1冊	「海水浴場監視者詰所」 答案 松本陽一画	1枚
建築図画「四天王寺東大門」 森田与四郎画	1枚	横浜高等工業学校 アナリチック問題「美術館彫刻陳列室内装飾」 答案 SHOICHI 画	1枚
建築図画「奈良唐招提寺金堂柱廊詳細図」 大智誠画	1枚	横浜高等工業学校 十六時間エスキスエスキス	
建築図画「滋賀縣石山寺多寶塔正面及組物並軒裏見上図」		「Barrage 堰中ノ水分神」 答案 松本陽一画	1枚
渡邊幸蔵画	1枚	横浜高等工業学校 十六時間エスキスエスキス	
建築図画「上古時代之研究」若山旅人画	1枚	「日伯協会大講堂演壇」 答案	1枚
建築図画「鎌倉期之研究」 明珍昌尚画	1枚	横浜高等工業学校 アナリチック問題	
建築図画「桃山期之研究」 石黒義之画	1枚	「北京公園内共同便所」 答案 須田一直画	1枚
建築図画「唐招提寺経蔵詳細図」 田中於菟丸画	1枚	横浜高等工業学校 アナリチック問題	
建築図画「天瑞院瓦門実測図」 渡辺繁一画	1枚	「北京公園内共同便所」 答案 堀添保画	1枚
建築図画「教王護国寺金堂側面図」 鈴木一央画	1枚	横浜高等工業学校 アナリチック問題	
建築図画「奈良東大寺南大門詳細図」 片柳外夫画	1枚	「北京公園内共同便所」 答案 かずみ画	1枚
建築図画「奈良唐招提寺金堂柱廊詳細図」 清水光一画	1枚	横浜高等工業学校 アナリチック問題	
建築図画「伊勢神宮側面図」 守屋哲之助画	1枚	「Institut / 玄閣」 答案 J.YOSHIMOTO 画	1枚
建築図画「奈良唐招提寺鼓楼正面図」 山口挺二画	1枚	横浜高等工業学校 アナリチック問題	
建築図画「唐招提寺経蔵詳細図」 瓜生時光画	1枚	「Institut / 玄閣」 答案 かずみ画	1枚
建築図画「東大寺法華堂側面図」 村山和吉画	1枚	横浜高等工業学校 アナリチック問題	
建築図画「法界寺阿彌陀堂断面図」	1枚	「Institut / 玄閣」 答案 宇佐美画	1枚
建築図画「斗拱詳細図」	1枚	横浜高等工業学校 アナリチック問題	
建築図画「住吉神社本殿詳細図」 館上武雄画	1枚	「小図書館」 答案 中山長一郎画	1枚
建築図画「金閣寺正面図」 鈴木孫市画	1枚	横浜高等工業学校 アナリチック問題	
横浜高等工業学校 アナリチック問題		「小美術館」 答案 SHOICHI 画	1枚
「宮中御苑内廻廊」 答案下絵	1枚	横浜高等工業学校 アナリチック問題	
建築図画「京都北野天満宮三光門」 辻字三郎画	1枚	「小美術館」 答案 かずみ画	1枚
建築図画「奈良法隆寺金堂断面図」 黒瀧祐雄画	1枚	横浜高等工業学校 アナリチック問題	
建築図画「奈良法隆寺金堂縦断面図」 村川正二画	1枚	「客室の Cheminee 暖炉」 答案 矢部良平画	1枚
建築図画「京都大徳寺唐門詳細図」 石曾根永吉画	1枚	横浜高等工業学校 昭和十三年新春鏡開十六時間エスキスエスキス問題「神苑朝」 答案 D.vengo 画	1枚
建築図画「奈良唐招提寺金堂横断面図」 成澤福松画	1枚	横浜高等工業学校 昭和十三年新春鏡開十六時間エスキスエスキス問題「神苑朝」 答案	1枚
建築図画「春日神社祭器蔵」 太田寛一画	1枚	横浜高等工業学校 アナリチック問題	
建築図画「大徳寺浴室正面図及桁行断面図」 坂輝夫画	1枚	「薬医門ノ研究」 答案 渡邊画	1枚
建築図画「奈良唐招提寺講堂全景及断面詳細図」 長部一吉画	1枚	横浜高等工業学校 アナリチック問題	
建築図画「興福寺五重塔」 喜多川庸次画	1枚	「外階段ヲ有スル表入口」 答案 かずみ画	1枚
建築図画「奈良法華堂側面図」 松本平四郎画	1枚	横浜高等工業学校 アナリチック問題	
建築図画「奈良東大寺法華堂正面図及断面図」 長野尚友画	1枚	「小図書館」 答案 鈴木行重画	1枚
建築図画「聴秋閣正面図」 長澤博実測図 十分之一」		横浜高等工業学校 アナリチック問題	
長澤博画	1枚	「Orangerie」 答案 かずみ画	1枚
建築図画“ORDRE CORINTHIEN A ROME” 浅田有画	1枚	横浜高等工業学校 アナリチック問題	
建築図画“ORDRES DORIQUE ET IONIQUE A LA PROPYLEES ATHENES” 中山行弘画	1枚	「Orangerie」 答案 T.OKAYASU 画	1枚
建築図画“TEMPLE DE LA VICTOIRE APTERE A ATHENES”	1枚	横浜高等工業学校 アナリチック問題	
建築図画“PRIENE TEMPLE D'ATHENA POLIAS”	1枚	「Orangerie」 答案 堀添保画	1枚
		横浜高等工業学校 アナリチック問題	
		「Orangerie」 答案 鈴木画	1枚
		横浜高等工業学校 アナリチック問題	
		「宮中御苑内廻廊」 答案 菊池朗郎画	1枚

横浜高等工業学校 「宮中御苑内廻廊」	アナリチック問題 答案 規画	1 枚
横浜高等工業学校 「宮中御苑内廻廊」	アナリチック問題 答案	1 枚
横浜高等工業学校 「博物館」	アナリチック問題 答案 松本陽一画	1 枚
横浜高等工業学校 「博物館」	アナリチック問題 答案下絵 松本陽一画	1 枚
横浜高等工業学校 「Balancement プ有スル石造階段」	アナリチック問題 答案 松本陽一画	1 枚
横浜高等工業学校 「Balancement プ有スル石造階段」	アナリチック問題 答案下絵 松本陽一画	1 枚
横浜高等工業学校 「鉄道終点駅」	アナリチック問題 答案 松本陽一画	1 枚
横浜高等工業学校 「鉄道終点駅」	アナリチック問題 答案下絵 松本陽一画	1 枚
横浜高等工業学校 「陸軍大学正門及廻障」	アナリチック問題 答案下絵 松本陽一画	1 枚
横浜高等工業学校 「某記念建築物玄関」	アナリチック問題 答案 松本陽一画	1 枚
横浜高等工業学校 「某記念建築物玄関」	アナリチック問題 答案下絵 松本陽一画	1 枚
横浜高等工業学校 「製図問題「室内装飾」	答案下書	1 枚
横浜高等工業学校 「裁判所正面中央」	アナリチック問題 答案下絵	1 枚
横浜高等工業学校 「燈台」	アナリチック問題 堀添保画	1 枚
横浜高等工業学校 「温泉浴場」	十六時間エスキスエスキス 魏画	1 枚
横浜高等工業学校 「温泉浴場」	十六時間エスキスエスキス 中山長一郎画	1 枚
横浜高等工業学校 「宮中遊覧船」	十六時間エスキスエスキス 宮崎松一郎画	1 枚
横浜高等工業学校 「国立美術院内図書館入口」	アナリチック問題 答案 木村画	1 枚
横浜高等工業学校 「国立美術院内図書館入口」	アナリチック問題 答案 竹内画	1 枚
横浜高等工業学校 「藤棚ヲ有スル休憩用堂宇」	アナリチック問題 答案 中山長一郎画	1 枚
横浜高等工業学校 「大舞踏室室内装飾」	アナリチック問題 答案	1 枚
横浜高等工業学校 「戦地慰問隊用舞台」	十六時間エスキスエスキス 答案 水川忠夫画	1 枚
横浜高等工業学校 「東大寺鳥瞰図揭示所」	アナリチック問題 答案	1 枚
横浜高等工業学校 「東大寺鳥瞰図揭示所」	アナリチック問題 答案下絵	1 枚
横浜高等工業学校 「東大寺鳥瞰図揭示所」	アナリチック問題 答案下絵(トレーシングペーパー)	1 枚
横浜高等工業学校 「小美術館」	アナリチック問題 答案 堀添保画	1 枚
横浜高等工業学校 「日本海海戦ニ於ケル東郷元帥ノ碑」	十六時間エスキスエスキス 答案 武田亀雄画	1 枚
横浜高等工業学校 「紅葉茶屋」	十六時間エスキスエスキス 答案	1 枚
横浜高等工業学校 「三溪原富太郎先生碑」	十六時間エスキスエスキス 答案	1 枚
横浜高等工業学校 「Treillage / pavillion」	アナリチック問題 答案 M.M画	1 枚
横浜高等工業学校 「日本建築製図問題答案下絵」	日本建築製図問題答案下絵	1 枚
横浜高等工業学校 「西洋建築製図問題答案」	西洋建築製図問題答案 北村泰彦画	1 枚
横浜高等工業学校 「西洋建築製図問題答案」	西洋建築製図問題答案 金子富雄画	1 枚
横浜高等工業学校 「郊外風景」	m.yabuki 画	1 枚
横浜高等工業学校 「設計問題「職工住宅」	答案 八木章画	1 枚
横浜高等工業学校 「劇場内 Foyer」	アナリチック問題 答案 高田義就画	1 枚
横浜高等工業学校 「劇場内 Foyer」	アナリチック問題 答案 安井善次郎画	1 枚
横浜高等工業学校 「劇場内 Foyer」	アナリチック問題 答案	1 枚
横浜高等工業学校 「廿四人食堂」	設計問題 答案 君塚泰画	1 枚
横浜高等工業学校 「Salon 装飾」	アナリチック問題 答案 野村肇一画	1 枚
横浜高等工業学校 「Une Salle de conseil」	アナリチック問題 答案 MurA 画	1 枚
横浜高等工業学校 「Une Salle de conseil」	アナリチック問題 答案 福田健太郎画	1 枚
横浜高等工業学校 「宮中御苑内廻廊」	アナリチック問題 答案 松本陽一画	1 枚
横浜高等工業学校 「宮殿表廣庭ノ圍障」	十六時間エスキスエスキス 答案下絵	2 枚
横浜高等工業学校 「開戦記念日ノ碑」	製図問題 答案	1 枚

館蔵品の修復

●平成 25 年度の館蔵品修復

名称	数	修復概要
紙子羽織	1 枚	全体的な補修
鍾馗図 丹羽桃溪筆	1 幅	表具(部分)の裏打ち紙取り換え
8 ミリフィルム	2 本	35mm フィルムへのブローアップ、テレシネによるコンテンツ保存

●協会・公益事業費による修復

名称	数	修復概要
藪長水筆 山水図・朱竹園衝立	1 基	本紙の洗浄、折れ伏せ、欠損部の裏打ち、再表装など全体的な補修。
大岡春卜筆 小督局図	1 幅	本紙の洗浄、折れ伏せ、欠損部の裏打ち、再表装など全体的な補修。
明州図 墨江武禪筆	1 幅	本紙の洗浄、折れ伏せ、欠損部の裏打ち、再表装など全体的な補修。
流光斎筆 若水汲	1 幅	本紙の洗浄、折れ伏せ、欠損部の裏打ち、再表装など全体的な補修。
浮世絵修復・マット装丁	44 点	虫損・欠損箇所の裏打ち、マット装丁
中村順平画 東京駅 RTO 待合室 壁面彫刻下絵	1 点	本紙の洗浄、折れ伏せ、欠損部の裏打ち、額装など全体的な補修。
中村順平画 巖正寺立面構想図	2 点	破損部分の補修、マット装丁
中村順平画 前橋八幡宮透視図	1 点	破損部分の補修、マット装丁
中村順平画 グリル	1 点	破損部分の補修、マット装丁
中村順平画 岩崎邸食堂展開図	1 点	破損部分の補修、マット装丁
村野・森建築事務 所平面図	2 点	破損部分の補修、マット装丁
刀 銘 越後守藤 原國備	1 振	錆落とし、白鞘クリーニング
刀 銘 井上和泉 守國貞 寛文八年	1 振	錆落とし、白鞘クリーニング
8 ミリフィルム	10 点	35mm フィルムへのブローアップ、テレシネによるコンテンツ保存

新収館蔵資料紹介

朝鮮通信使関係資料 文房具図屏風 李氏朝鮮王朝時代

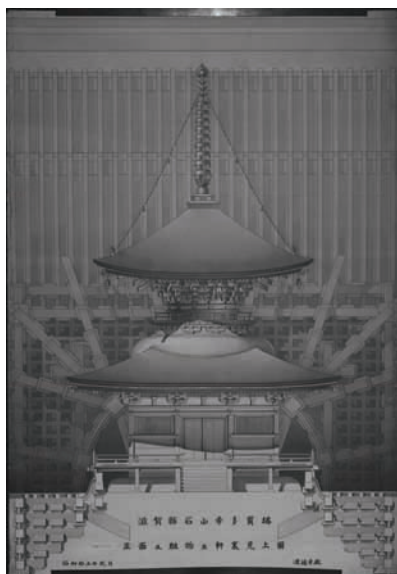
李朝時代に流行した文房具図屏風には、書物をはじめ、紙や墨、筆や硯などが主なモチーフとして描かれている。本図には動植物も描き込まれ、「文房具図」が当初持っていた書齋に威厳を与えるという機能から、室内を飾る華やかな調度品に性格が変化した朝鮮王朝末期の作品といえよう。



建築図画「滋賀縣石山寺多寶塔正面及組物並軒裏見上図」 渡邊幸蔵画 昭和 15 年(1940)

松本陽一氏寄贈

大阪出身の建築家・中村順平は、横浜高等工業学校建築学科で教鞭をとり、パリのボザール流の芸術的な建築教育を実践した。本作品は生徒に課した日本建築図画で、渡邊幸蔵が描いたもの。手前に立面図、奥（背景）に軒裏見上図を、左右下に組物を配する。下に「滋賀縣石山寺多寶塔正面及組物並軒裏見上図／昭和拾五年貳月／渡邊幸蔵」とある。



建築図画「滋賀縣石山寺多寶塔正面及組物並軒裏見上図」

菊里高校万博校章

昭和 45 年(1970) 羽場究氏寄贈

名古屋市立菊里高校が日本万国博覧会への修学旅行を行った際、生徒がつけた布製の校章で、「EXPO'70」と記されたワッペンである。この修学旅行は、昭和 45 年 8 月 19 日～21 日に実施され、万博修学旅行のガリ版刷りの手引書もある。寄贈者によると、当時 277 名が参加したという。



菊里高校万博校章

資料のデータ整備・貸出し・特別観覧

館蔵資料のデータ整備

●マイクロフィルム撮影

本年度は下記の館蔵資料について撮影を行った。

(1) マイクロフィルム撮影

・大阪歴史資料コレクション 94点 2,000コマ

(2) 写真撮影

・43点(絵画資料29点、人形4点、建築資料10点)

図書の入受(平成26年3月31日現在)

今年は新たに6,372件の新規登録を行った。内訳は、国内外の関係機関・個人からの寄贈5,307件、特別観覧献本82件、移管721件、購入204件、自主刊行物の登録58件であった。蔵書は当館2階の学習情報センター「なにわ歴史塾」において閲覧サービスを行っている。

館蔵資料の貸出し

本年度に他機関へ貸出した資料数は下に掲げた表のとおりである(28件162点)。

館蔵資料の特別観覧

本年度は撮影21件(111点)、複製8件(61点)、実測7件(59点)、閲覧21件(193点)、印画1件(1点)、掲載・掲出173件(442点)、放映53件(96点)、デジタルオンデマンド7件(25点)、その他5件(40点)、計296件(1,029点)の特別観覧があった。

※()内は資料点数。重複含む。



館蔵資料の貸出し状況

申請者	点数	展覧会名称	貸出期間
徳島県立博物館	6	企画展「天下の台所大坂と徳島」	平成25年 4月17日～6月19日
吹田市立博物館	2	特別展「大僧正行基展」	平成25年 4月10日～6月12日
兵庫県立考古博物館	1	特別展「播磨国風土記 一神・人・山・海」	平成25年 4月10日～7月 8日
九州国立博物館	1	特別展「大ベトナム展」	平成25年 4月 2日～6月23日
東京国立博物館	1	特別展「和様の書」	平成25年 6月29日～9月22日
兵庫県立歴史博物館	1	特別企画展「博物館はおぼけやしき」	平成25年 6月30日～9月15日
静岡県立美術館	1	企画展「夏目漱石の美術世界」	平成25年 7月 1日～9月 2日
富山県水墨美術館	7	企画展「あつまれ墨画アーティスト 夏のお化け美術館」	平成25年 7月25日～10月 8日
大阪府立弥生文化博物館	1	特別展「弥生人の船ーモンゴロイドの海洋世界ー」	平成25年 7月29日～10月25日
東京国立近代美術館	4	特別展「竹内栖鳳」	平成25年 8月12日～12月17日
岡山県立美術館、龍谷ミュージアム	7	特別展「極楽へのいざない」	平成25年 8月24日～12月22日
兵庫県立美術館	2	特別展「生誕130年 橋本関雪展」	平成25年 8月30日～11月 2日
織田作之助生誕100周年記念事業推進委員会	2	特別企画展「生誕100年記念 織田作之助と大坂」	平成25年 9月11日～11月 1日
茨城県立歴史館	1	特別展「はにわの世界」	平成25年 9月17日～12月20日
高槻市立しろあと歴史館	7	特別展「一発掘戦国武将伝ー高山右近の生涯」	平成25年 9月20日～12月17日
和泉市久保惣記念美術館	1	特別展「単彩画」	平成25年 9月20日～12月20日
福山市鞆の浦歴史民俗資料館	1	特別展「善隣友好朝鮮通信使」	平成25年 9月26日～12月 8日
佐賀県立名護屋城博物館	1	企画展「秀吉の宇宙」	平成25年 9月 9日～11月15日
大阪市立美術館	24	特別展「再発見!大阪の至宝」	平成25年10月15日～12月22日
岡山県立博物館	2	特別展「japan ー漆の世界ー」	平成25年10月 1日～11月29日
福岡市博物館	2	特別展「山笠の力」	平成25年10月20日～平成26年1月7日
高麗美術館	5	特別展「朝鮮通信使と京都」	平成25年10月 5日～平成26年1月6日
泉佐野市教育委員会(歴史館いずみさの)	2	特別展「天下統一と泉佐野」	平成25年10月 8日～12月13日
佐野美術館	46	特別展「変わり兜×刀装具 戦国アバンギャルドとその昇華」	平成26年 1月 3日～2月14日
鳥取県立博物館	21	特別展「没後50年 菅橋彦」	平成26年 2月 3日～4月20日
千葉市美術館、細見美術館、岡山県立美術館	10	特別展「光琳を慕うー中村芳中展」	平成26年 3月11日～11月21日
サントリー美術館	2	「のぞいてびっくり江戸絵画 ー科学の眼、視覚のふしぎー」展	平成26年 3月 4日～5月30日
兵庫県立歴史博物館	1	特別展「軍師官兵衛」	平成26年 3月 7日～7月27日

教育普及事業

シンポジウム等

- ◇シンポジウム「大阪上町台地から都市を考える 7 大阪上町台地から都市を考える」
 - ・12月22日 276名 基調講演「比較都市史からみた初期の都市大阪」佐々木憲一氏（明治大学）、報告①「上町台地とその周辺における弥生時代以降の古地理と古環境の変遷」趙 哲済（大阪文化財研究所）、報告②「倭王権形成過程における上町台地周辺の意義」古市 晃氏（神戸大学）、報告③「難波宮成立前夜の上町台地周辺の生産と流通」田中清美（大阪文化財研究所）
 - ・12月23日 221名 報告④「受け継がれた都市計画—難波京から中世都市・大坂へ」市川 創（大阪文化財研究所）、報告⑤「並び立つ都市の時代—中世上町台地の様相—」大澤研一、報告⑥「近世城下町大坂の誕生と拡大」松尾信裕（大阪城天守閣）、報告⑦「近代へ繋がる都市大阪の特性」脇田 修、総合討論 司会：南 秀雄（大阪文化財研究所）・豆谷浩之
- ◇トークショー「大大阪 海の玄関・築港」築港・天保山にぎわいまちづくり実行委員会、花の海遊ロード美化協議会、港区役所との共催により実施。
 - ・6月29日 137名 スペシャルゲスト：柳原良平氏（イラストレーター）、講師：酒井一光、コーディネーター：山納 洋氏（大阪ガス㈱近畿圏部）築港関係資料展示解説：酒井一光 25名

講座・見学会

- なにわ歴史博講座
- ◇初夏の講座「近世・近代大阪の文化」
 - 6月14日「せともの祭の造り物について」澤井浩一 47名
 - 6月21日「随筆にみる近代の「大阪」」船越幹央 37名
 - 6月28日「淀川の漁業と巨椋池の漁業—環境変化の中の内水面漁業—」伊藤廣之 58名
- ◇秋の講座「考古学から探る原始・古代の大阪」
 - 10月18日「河内地域における土器から見た邪馬台国時代の地域間交流」杉本厚典 79名
 - 10月25日「倭と韓をつなぐ—邪馬台国時代の壱岐と対馬—」寺井誠 66名
 - 11月1日「「中期」難波宮をめぐる—朱鳥火災後の整理作業と空白の40年間—」李 陽浩 88名
- ◇冬のシリーズ「近世・近代の大阪の暮らし」
 - 1月10日「細部（ディテール）に宿る近代建築の記憶」酒井一光 54名
 - 1月17日「17世紀大阪の都市開発」八木 滋 77名
 - 1月24日「変転する大阪の蔵屋敷」豆谷浩之 116名
 - 1月31日「文献資料から見た豊臣期大坂城下町の大名屋敷—豊臣後期を中心に」大澤研一 108名
 - 2月7日「創設期大阪府方面委員制度の実態」飯田直樹 36名

- ◇春のシリーズ「大阪の文化財を護り伝えてきた日々」
 - 3月7日「日本史上からみた難波の歴史的位置」積山洋 110名
 - 3月14日「大坂発掘—中近世考古学のおもしろさ—」松尾信裕氏（大阪城天守閣）96名
 - 3月21日「博物館における資料保存と管理について」文珠省三 42名
 - 3月28日「発掘調査から考える建築の復元について—博物館の展示資料を中心に—」植木久氏（大阪市教育委員会）60名
- 金曜歴史講座（公益財団法人大阪市博物館協会大阪文化財研究所と共催、講師はすべて同研究所）
- ◇第1シーズン「難波宮跡発掘60周年記念」
 - 7月5日「山根徳太郎先生と難波宮址発掘60年」長山雅一 125名
 - 7月12日「難波宮・難波京発掘の最前線から」高橋 工 130名
 - 7月19日「壁土から前期難波宮に迫る」大庭重信 121名
 - 7月26日「新発見！難波宮西方の建築群は何を語るか」京島 覚 136名
- ◇第2シーズン「速報展直前！最新の重要発掘成果」
 - 9月6日「加美遺跡周辺の古代—最近の発掘調査成果をふまえて—」櫻田小百合 128名
 - 9月13日「弥生の墓と古墳—2012年長原遺跡発掘成果より」田中裕子 143名
 - 9月20日「70年の時を超え、弥生時代前期の瓜破ムラの発見—瓜破遺跡の発掘調査から—」小倉徹也 143名
 - 9月27日「四天王寺の南に古代大型建物群あらわる—天王寺区悲田院町の発掘調査から—」市川 創 127名
- ◇第3シーズン「考古学千夜一夜」
 - 11月22日「朝鮮無文土器からみた紀元前後の大阪—都島区榎並城跡伝承地出土資料を中心に—」田中清美 121名
 - 11月29日「天満寺内町の考古学—上町・船場と並ぶ城下町大坂の起源—」南 秀雄 131名
 - 12月6日「豊臣氏大坂城と城下町の開発—土地の造成と町づくり—」平田洋司 135名
 - 12月13日「古代人はどのようにして塩を作ったか—近畿地方の土器製塩を中心に—」岩本正二 101名
- 第29回歴史学入門講座
 - 6月23日「歴史学の新たな地平を求めて—「自由民権期の社会」像の構築—」大日方純夫氏（早稲田大学文学学術院教授）114名
- 映画鑑賞会・講座等
- ◇映画講座
 - 5月19日 生誕100年「中村登と女性映画」講師：上倉 庸氏（大阪大学大学院教授）15名
- ◇大阪アジア映画祭特別ゼミナール
 - 7月7日56名、8月4日57名、9月29日47名、

- 12月15日 50名、1月12日 48名、2月2日 49名
 講師：暉峻創三氏（大阪アジア映画祭プログラミングディレクター）
- ◇2013 優秀映画鑑賞会「名匠たちによる社会派ミステリー傑作選」10月5日 199名、10月6日 216名
- ◇CO2 特別ワークショップ「映画列車～1分映画を作ろう～」
 9月16日 8名 講師：万田邦敏氏（映画監督）
- ◇第9回大阪アジア映画祭「おおさかシネマフェスティバル2014—映画ファンのための映画まつり—」
 3月2日 278名 ベストテン発表、表彰式、受賞記念上映
- ◇第9回大阪アジア映画祭 シンポジウム「高層化するアジアの想像力」3月15日 30名 パネラー：ニックアミー・ムスタファ監督（マレーシア、OAFF2014コンペティション部門作品『KIL』監督）、深田晃司氏（『歓待』（OAFF2011）、『ほとりの朔子』ほか監督）、山本博之氏（京都大学地域研究統合情報センター／マレーシア映画文化研究会）
- 古文書講座「新発見道頓堀関係古文書を読む」
 11月16日 八木 滋 52名、11月23日 西本菜穂子 52名、11月30日 塚田 孝氏（大阪市立大学教授） 50名
- 考古学入門講座「なにお考古学散歩 大阪のウォーターフロントを歩く」積山 洋、豆谷浩之、寺井 誠、杉本厚典、大庭重信（大阪文化財研究所）4月6日 34名、4月13日 35名、4月20日 35名、4月27日 35名
- 連続講座「朝鮮半島と日本列島—その交流をたどる—」
 8月7日「文化をはぐくむ海・山・川—朝鮮半島の歴史・地理と自然環境—」寺井 誠 136名
 8月14日「半島と列島を結ぶ—海岸部の交流拠点集落について—」寺井 誠 130名
 8月21日「寺院建築の魅力—古代の遺跡から現存する古建築まで—」李 陽浩 121名
 8月28日「朝鮮通信使の大坂訪問記—対馬宗家文書から—」大澤研一 126名
- 同志社女子大学講座「くすりのまち・大阪」
 3月22日 264名 講演1「くすりの町大阪と薬草文化」小西天二氏（同志社女子大学 薬学部医療薬学科教授）、講演2「江戸時代大坂の薬屋」八木 滋、博物館案内ツアー 大澤研一・酒井一光
- 見学会
 ◇大阪町あるき「おおさか橋めぐり」伊藤 純、西本菜穂子、八木 滋 5月19日「東横堀コース」38名、5月26日「中之島コース」37名
 ◇竹内街道沿道ミュージアム連携リレーウォーク「竹内街道から難波へ」6月22日 第3回「四天王寺から難波宮へ」大庭重信（大阪文化財研究所）、積山 洋 31名
 ◇大阪町あるき2013「基本編」西本菜穂子、伊藤 純、八木 滋 10月27日「道頓堀コース」30名、11月10日「上町台地コース」23名、11月17日「船場・堀江コース」29名
 ◇オープン台地 講演+見学会 12月7日 28名
 講座：「上町台地激動の時代 戦国時代から江戸時代の大坂をめぐる」大澤研一

- 見学：特集展示「新発見資料からみる江戸時代の道頓堀」八木 滋
- ◇建築史探偵団「近代建築の保存・再生と都市景観の変遷」酒井一光、船越幹央、飯田直樹
 2月15日「船場（本町～淀屋橋付近）を歩く」37名
 2月22日「京都（烏丸御池～四条烏丸付近）を歩く」37名
- ◇見学会 昔の観光地を旅する2014
 —京都御所の歴史を訪ねて— 船越幹央、伊藤 純
 3月16日「大極殿跡と羅城門・西寺跡」30名
 3月22日「京都御所とその周辺」29名

特別展・特集展示・講演会・展示解説など

- ◇特別展「幽霊・妖怪画大全集」
 4月20日 オープニングコンサート第21回うえまちコンサート 創作講談とクラシック音楽のコラボ＝音楽絵巻「幽霊は永久に語る…」講談：旭堂南左衛門氏（講談師）講演：高田泰治氏（日本テレマン協会）180名
 4月28日 講演会「幽霊と妖怪画の世界」中山喜一郎氏（福岡市美術館学芸課長）189名
 展示解説 5月3日 80名、5月10日 80名、5月17日 100名
- ◇特別展「エヴァンゲリオンと日本刀展」
 7月14日 刀匠のトークショー「なぜ？エヴァンゲリオンと日本刀～日本刀の入口はどこへ～」講演：月山貞伸氏（セカンドインパクト短刀製作者）、川崎晶平氏（カウンターソード製作者）113名
- ◇特別企画展「生誕100年記念 織田作之助と大大阪」
 7月6日 講演会「織田作之助と映画」52名
 9月25日～11月4日 パネル展「NHK連続テレビ小説『ごちそうさん』と大大阪」
 9月29日 講演会「生誕100年記念 織田作之助と大大阪」講演「織田作之助の遺品が語る新事実」オダサク倶楽部、「織田作之助と大大阪時代」橋爪節也氏（大阪大学総合学術博物館館長）・井村身恒氏（オダサク倶楽部代表）・船越幹央 164名
 10月5日 蓄音器・オダサク・ミュージック 解説：織田草之助氏（オダサク倶楽部）80名
 10月12日「ラジオ放送作家織田作之助—BKドラマ・音楽再現—」旭堂南陽氏（講談師）、吉川智明氏（FM大阪くらこれ企画）ほか 49名
 10月13日「講談織田作之助 with 道頓堀ジャズ」旭堂南陽氏（講談師）、古川武志氏（大阪市史料調査会）ほか 55名
- ◇特別展「戦国アバンギャルドとその昇華 変わり兜×刀装具」
 11月8日 記念演奏会「鉄を極める・明潤琴演奏会」演奏：藤本 潔氏・久保比呂誌氏 60名
 11月16日 ひこにゃん歴博に登場 160名
 11月24日 講演会「変わり兜と戦国武将」講師：須藤茂樹氏（四国大学専任講師）202名
 兜レプリカ着体験
 11月2日 40名、11月3日 93名、11月4日 79名、11月9日 54名、11月10日 48名、11月16日 62名、11月17日 52名、11月23日 86名、11月24日

日 85 名、11 月 30 日 81 名、12 月 1 日 108 名、12 月 7 日 75 名、12 月 8 日 106 名

展示解説 11 月 15 日 40 名

- ◇特別展「手塚治虫×石ノ森章太郎 マンガのちから」
1 月 25 日 映画会「手塚治虫×石ノ森章太郎 アニメのちから」上映：「W3」、「リボンの騎士」、「バンパイヤ」、「佐武と市捕物控」113 名
- ◇特集展示「修復品・新収品 お披露目展」
展示解説 4 月 13 日 13 名、4 月 27 日 8 名、5 月 11 日 8 名
- ◇特集展示「大阪の風ー木村薫コレクションからー」
展示解説 6 月 30 日 7 名、7 月 28 日 3 名、8 月 4 日 8 名
- ◇特集展示「関東大震災 90 年記念 近現代大阪の地震」
展示解説 8 月 25 日 10 名、9 月 1 日 25 名、9 月 22 日 15 名、9 月 23 日 14 名
- ◇特集展示「新発見！なにわの考古学 2013」
10 月 14 日 講演会「大阪の歴史を掘る 2013」講演「弥生土器からみた地域間交流ー河内平野を中心としてー」深澤芳樹氏（奈良文化財研究所客員研究員）、「平成 24 年度大阪市内の発掘調査」絹川一徳（大阪文化財研究所）98 名
展示解説 9 月 28 日 18 名、10 月 19 日 10 名、10 月 26 日 20 名
- ◇特集展示「新発見史料からみる江戸時代の道頓堀」
12 月 1 日 シンポジウム「道頓堀の開発と芸能」講演「近世道頓堀の社会＝空間構造」神田由築氏（お茶の水女子大学准教授）、「新安井家文書発見の意義」塚田 孝氏（大阪市立大学教授）、「道頓堀の開発と芝居地」八木 滋ほか 108 名
展示解説 11 月 9 日 22 名、11 月 16 日 30 名、11 月 23 日 8 名、12 月 8 日 16 名、12 月 15 日 25 名
- ◇特集展示「近代建築の記憶」
1 月 18 日 朝日ビルディング群記録映像上映会&トークショー 上映：「関西の歴史建築 vol.6 朝日ビル 伝統の継承と進化」（若林あかね作）トークショー：泉川渥洋氏（株式会社朝日ビルディング監査役）、後藤俊明氏（株式会社朝日新聞社社史編修センター）、若林あかね氏（映像作家、有限会社ジオメディアプロダクション）、酒井一光 66 名
展示解説 12 月 23 日 20 名、1 月 13 日 20 名、1 月 25 日 25 名、2 月 1 日 20 名
- ◇特集展示「御所人形の世界」
浪花百景貝合わせであそぼう！ 2 月 23 日 182 名、3 月 9 日 204 名
展示解説 2 月 11 日 35 名
- ◇特集展示「幕末大坂の絵師 藪長水」
展示解説 3 月 15 日 12 名、3 月 21 日 8 名
- 展示解説
特別展に伴う展示解説 参加者合計 280 名
特集展示に伴う展示解説 参加者合計 400 名
常設展示に伴う展示解説 参加者合計 1,336 名

“なにわ歴博” わくわく子ども教室事業

本事業は主に小学生・中学生を対象とし、土日祝日を中心に実施した。

- ①むかしの瓦の拓本体験
4～9 月の毎月第 1 土曜日
午後 2 時～午後 4 時 全 6 回 計 132 名
- ②手作りおもちゃで遊ぼう
毎月第 1・3 土曜日（1 月は第 3 のみ）全 23 回
計 2,052 名
- ③綿くり・糸つむぎ体験
7 月 27 日、8 月 25 日 全 2 回 計 151 名
- ④土人形マグネットづくり
10～3 月の毎月第 1 土曜日 午後 2 時～午後 4 時
全 6 回 計 154 名
- ⑤歴史講座と考古学体験
9 月 22 日 18 名、10 月 20 日 17 名、11 月 17 日（体験発掘）14 名 全 3 回 計 49 名
- ⑥風づくりと風あげ 1 月 11 日 25 名

その他

- ◇難波宮発掘調査の現地公開 1 月 11 日 630 名

難波宮遺跡探訪

当館の地下に保存されている難波宮の遺跡を、1 日 6 回、定員 40 人で学芸員・ボランティアによるガイドツアーを実施している。平成 25 年度は合計 6,867 人の参加があった。また、開館日の 12 時 30 分～13 時の間に 5 世紀の復元倉庫を公開しており、合計 7,853 人が見学した。

学習情報センター「なにわ歴史塾」

当館 2 階の無料空間内にある。映像ソフト約 100 件の閲覧、開架図書約 6,000 冊の閲覧、常駐する学芸員による学習相談に応じた。検索端末を利用した館蔵図書・館内展示情報検索や大阪市内博物館・美術館ホームページ閲覧などのコーナーも用意し、市民の歴史学習を支援するとともに、利用案内リーフレットや「なにわ歴史塾映像の間 作品ご案内」（年 4 回）の作成、「なにわ歴史塾ブログ」・掲示板や新着図書コーナー・わくわく子ども教室図書コーナーの随時更新など、利用推進を図った。また今年度は司書を中心にして、特別企画展開催などに合わせて、「春の入門」（4/1～5/10）、「大阪検定 2013」（5/11～7/1）、「夏休み子ども特集」（7/3～9/2）、「なにわ文学善哉」（9/3～11/25）、「京阪神のお酒」（11/27～1/27）、「美人」（1/29～3/31）の 5 回の特集を企画し、関連書籍を配架した。25 年度の入室者数は 34,390 名、書庫出納件数は 239 件、複写利用件数は 822 件であった。

職員派遣

国内については、63 件の職員の派遣等を行った。概要は 34・35 頁を参照されたい。

学校連携事業

学校教育との連携をはかるため、学校教員を対象とする研修会へ学芸員を派遣するとともに、学校における進路学習のための職場体験学習を受け入れた。また、市内小学生を対象とした体験発掘の実施、大学からの博物館実習の受け入れをおこなった。詳細は以下のとおりである。

●学校職員の研修の受入

◇大阪市教員研修（主催：大阪市教育センター）

対象：大阪市立学校園教職員 30名

8月7日(水)「AR 難波宮を使つての10階古代フロアならびに地下遺構展示スペースの見学」「9階近世フロアの活用について」

●学校団体（小中学校及び高等学校）への教育支援および職業体験の受け入れ

6月17・21日	大阪市立視覚特別支援学校高等部普通科	1名	職業体験
11月1日	大阪市立天満中学校	7名	職業講話
11月14・15日	大阪市立東中学校	2名	職業体験
11月21・22日	大阪市立咲くやこの花中学校	2名	職業体験
2月6・7日	大阪市立真住中学校	2名	職業体験

●体験発掘

市内の埋蔵文化財の普及・啓発活動のため、大阪文化財研究所との連携のもと、難波宮跡において体験発掘を実施した。実施に当たっては小学校高学年を対象とし、希望する学校の調整には大阪市小学校社会科研究会の御協力を賜った。今年度は、平成25年11月11日～18日の期間中、市内8校、450名の児童たちを受け入れ、無事終了した。



体験発掘の様子

●博物館実習の受け入れ

博物館法および博物館法施行規則に基づく学芸員資格取得のための博物館実習は12大学41名を受け入れた。なお、公の施設における市民サービスの公平性および受益者負担の考え方から、実習に要する費用として1人あたり5,000円を徴収した。

◇8月19日～23日 大阪市立大学10名、大谷大学1名、帝塚山学院大学3名、奈良大学4名、桃山学院大学1名、立命館大学1名

◇8月26日～30日 国立大学法人大阪大学11名、大阪市立大学2名、関西学院大学3名、京都橘大学1名、甲南女子大学1名、同志社大学2名、佛教大学2名

●見学実習

見学実習は、大阪樟蔭女子大学、甲南女子大学、関西大学、阪南大学、佛教大学ほかから計604名を受け入れた。

地域・その他連携事業

博物館群等の連携事業

大阪市の博物館・美術館・動物園の9施設が連携し、大阪市の魅力をアピールするための事業を実施し、本年度は「大阪てくてくミュージアム」でキャラクター展開を行った。7年目となる本年は、前年に続いて大阪市博物館協会事業企画課による事業推進体制をとり、当館もそれに参画した。

●ミュージアムウィークス 2013

期間：10月29日(火)～12月8日(日)

本年度は大阪市立美術館で開催された特別展「再発見！ 大阪の至宝」の会期にあわせ、「もっと！ お宝大公開」をテーマに、各施設がおすすめの資料を展示した。当館では、9階中世近世フロア「まちの生活」コーナーにて開催した「大塩平八郎の乱」の中で「出潮引汐奸賊聞集記」を展示した。展示場内に設置したアンケート回答者に対し、「てくてくミュージアム GUIDE 2013」をプレゼントした。

●ミュージアム連続講座

連携する各施設および大阪市立大学から講師を招き、夜間の市民向け講座として開催されているシリーズ。本年度は「旅」をテーマに、大阪市立総合生涯学習センター第1研修室で5回連続講座(2月7・14・21・28日、3月7日：1回2講座)として開催した。当館からは、第4回目に船越幹央学芸員が「岡本一平が見た大阪と大阪人」のテーマで講演した。

●文化連携事業

- ・1月26日 なにわ歴博寄席 2014「古今泥棒事情」落語「書割盗人」笑福亭銀瓶氏、落語「おごろもち盗人」笑福亭三喬氏、歴史トーク「江戸時代の盗人取締事情」西本菜穂子、落語「振込め！」桂三風氏 228名
- ・2月9日 アニメソングコンサート in れきはく 会場：1階アトリウム 演奏：大阪市音楽団 指揮：奥村哲也 司会：水野潤子 「Life is SHOW TIME」など9曲 400名
- ・3月21日 雅楽鑑賞会 演奏：博雅会 演目：第一部管絃 黄鐘調調子ほか5曲、雅楽解説、第二部舞楽 右舞貴徳、退出音声 187名

大学との連携事業

●キャンパスメンバーズ制度

大阪市博物館協会の取り組みの一環としてキャンパスメンバーズ制度を導入し、今年度は大阪市立大学、大阪大学、大阪府教育センター附属高等学校、大阪市立咲くやこの花高校が会員となり、年間利用者は順に404名、602名、38名、9名であった。

●大阪市立大学との連携

大阪市博物館協会が法人として大阪市立大学と締結している包括連携協定事業に参加した。本協定にもとづき市大開講の博物館関連講義へ下記学芸員を派遣した。

- ・博物館経営論：大澤研一
- ・博物館資料保存論：豆谷浩之、文珠省三
- ・博物館展示論：文珠省三、大澤研一、伊藤純、酒井一光、八木滋

包括連携協定企画の下記2事業に下記学芸員を派遣した。

◇2月23日 シンポジウム「難波宮と大化改新」
積山洋、李陽浩

◇3月9日 連続講座「大阪城の地中を探る」大澤研一

館独自の連携事業としては下記を実施した。

◇古文書講座「新発見道頓堀関係古文書を読む」

参加者154名(事業詳細は21頁)

◇シンポジウム「道頓堀の開発と芸能」

参加者108名(事業詳細は22頁)

◇研究プロジェクトへの派遣

大阪市立大学平成25年度戦略的研究「近世都市大坂の歴史構想と史料テキストの開発」八木滋、西本菜穂子

その他の連携事業

●関西大学大阪都市遺産研究センターとの連携(共催事業)

◇「三村幸一が撮った大阪の祭りー大阪歴史博物館所蔵写真からー」7月10日～15日

関西大学リサーチアトリエ 楽歳天三・天満天神楽市楽座

展示解説 7月13日 総入場者931名

(同時開催)大阪歴史博物館 常設展示室7階写

真パネルコーナー 7月3日～9月2日「戦後大阪の祭りー三村幸一撮影資料よりー」

◇「三村幸一が撮った日本の祭りー大阪歴史博物館所蔵写真からー」11月16日～29日

関西大学大阪都市遺産研究センター 1階 大阪都市遺産セミナー室

展示解説 11月16日 総入場者 371名

●大念佛寺との共催展示

大阪市内の文化財所有者と連携し、文化財の公開・活用を促進する事業の一環として、本年も大念佛寺宝物館（平野区）との共催で「平野と大念佛寺展」を開催した。

5月1日～5日 入場者 3,974名

●上町台地歴史講座

上町台地を活動の場とする NPO 法人まち・すまいづくりとの連携・共催し、特別展「幽霊・妖怪画大全集」を盛り上げるオープニングコンサート「第21回うえまちコンサート バロック音楽×創作講談音楽絵巻「幽霊は永久に語る・・・」」を開催した。

◇うえまちコンサート（第21回）4月20日

入場者 180名

共催：日本テレマン協会

特別展解説：岩佐伸一

●難波宮フェスタ！2013 7月28日

講演会「ここまでわかった難波宮ー近年の発掘調査と残された課題ー」村元健一

ステージ・ワークショップ他 参加者 2,854名

●平成25年度文化庁「地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業」

事業名：地域の博物館や文化資源を活用した「上町台地」の魅力発信による観光振興・地域活性化事業

事業主体：なにわ活性化実行委員会（大阪歴史博物館・公益財団法人大阪市博物館協会大阪文化財研究所ほか）

事業（当館が関係するもののみ）

・AR 難波宮のコンテンツ追加、バージョンアップ 今年度は新たに当館南側で発見された5世紀代倉庫群の外観と内部の3D映像を制作し、公開した。累計ダウンロード数は4,200である（無料）。

・難波宮フェスタの開催

・シンポジウム「難波宮と大化改新」の開催

平成25年度 普及関連事業の回数（日数）と参加人数

事業	個別事業名	回数	参加人数
教育普及事業	シンポジウム等	3	659
	講座・見学会その他	66	6,016
	特別展・特集展示・常設展示、講演会・展示解説	217	5,060
	なにわ歴博 わくわく子ども教室事業	41	2,563
	石組水路公開・難波宮発掘調査現地公開	3	783
	難波宮遺跡探訪・復元倉庫の公開	2,149	14,720
	小計	2,479	29,801
学校連携事業	学校職員研修の受け入れ	1	30
	職場体験学習	9	14
	体験発掘	8	450
	博物館実習の受け入れ	12	41
	博物館見学実習の受け入れ	18	604
小計	48	1,139	
地域・その他連携事業	博物館群との連携事業（文化連携事業：当館開催分）	3	815
	大学との連携事業（包括連携事業：当館開催分）	4	262
	その他連携事業	5	8,310
	小計	12	9,387
友の会関連事業	史跡をめぐる	2	59
	史跡と産業をめぐるシリーズ	1	43
	街道を歩く	2	83
	小計	5	185
ボランティア関連事業	研修	8	577
合計		2,552	41,089

友の会関連事業

本会は「博物館の活動を支援し、博物館の充実及び発展に寄与するとともに、会員相互の親睦を深めることを目的」（規約第2条）に活動を続けている。運営は自主運営をめざし、毎月開催の幹事会での議論を経ておこなわれてきた。

平成22年度より、幹事会をはじめとした会員による自主運営化にむけ作業を進めてきた。その結果、平成26年3月15日に行われた臨時総会において友の会の自主運営移行について周知ならびに確認されたため、作業は完了した。

したがって、これまで当館が事務局として携わってきた会の運営については、平成26年4月以降は幹事会によって推進されることとなるが、当館が会の運営には直接関与しないものの、見学会への講師派遣や幹事会への参加など、友の会との連携は今後も引き続き継続する。また、会の名称について継続使用の申請があったことを受け、既存会員への宥和や新規会員勧誘における混乱を来さないためにも、これを変更しないこととした。

《会員数》

平成25年度会員数は292名であった。会員数においては平成24年度（355名）から減少している。

■H25年度会員登録実績

	新規	継続	小計
個人会員	46	208	254
家族会員	4	25	29
学生会員	2	5	7
賛助会員	0	2	2
合計	52	240	292



トヨタテクノミュージアムにて
(史跡と産業をめぐるシリーズの見学会)

《活動内容》

●総会

平成25年5月25日 友の会総会 参加者27人

●見学会

①街道を歩くシリーズ

6月2日「続・熊野街道を歩く（その3）」

－浅香山～鳳－ 37人 講師：大澤研一

12月15日「続・熊野街道を歩く（その4）」

－鳳～久米田－ 22人 講師：大澤研一

②史跡と産業をめぐるシリーズ

7月20日「名古屋の徳川美術館、トヨタテクノミュージアム、のりたけの森」

(自主企画の見学会) 43人

訪問先の展示場係員による説明

③史跡をめぐるシリーズ

10月5日「庭園と建築の見学会－大阪編－」

42人 講師：酒井一光

1月26日「庭園と建築の見学会－神戸編－」

41人 講師：酒井一光

●会誌の刊行

『歴友』vol.24：平成25年10月31日刊行

『歴友』vol.25：平成26年3月27日刊行

●友の会事務局だよりの発行

4月25日、6月10日、8月20日、11月1日、12月15日、2月10日 計6回

●幹事会の実施

4月17日、5月15日、6月12日、7月10日、9月11日、10月9日、11月18日、12月11日、1月22日、2月10日、3月10日 計11回

●その他

①自主企画見学会の実施

平成26年以降のテストとして、自主企画で名古屋方面への見学会を企画、実施した。同日にアンケートも実施した。結果は歴友24号で会員へ報告。

②幹事会のお手伝いを募集

友の会会員の登録や名簿管理、発行誌・友の会だよりの企画・制作や、見学会の企画・資料作成・下見・同行、会計管理など、自主運営をするためには人手が不足する状態にあるため募集をかけた。

(平成25年11月1日の事務局だよりで実施)

ボランティア関連事業

大阪歴史博物館では、市民参加型の開かれた博物館活動の重要な事業の一つとしてボランティアを導入している。この活動は自らの興味・経験・知識・技術などを活かして、社会に貢献する場を市民に提供するとともに、来館者へのサービスを向上させ、博物館活動を活性化させることを目的としている。

平成 25 年度におけるボランティアの登録者数は 216 名。活動日は休館日を除く毎日で、日数は 307 日間、延べ活動人数は 6,523 人であった。

●各グループの活動

◇遺跡探訪・歴史を掘る班

(活動者 92 名 延べ活動人数 2,938 名)

前期難波宮跡の管理棟遺構や倉庫跡などのガイドツアーにおいて解説・誘導を行った。また、常設展示 8 階歴史を掘るコーナーで再現された遺跡を使って学習プログラムの案内や説明を行った。5 月 3 日と 11 月 9 日の「iPad で楽しむ難波宮遺跡探訪」の実施に当たっては延べ 11 名が、5 月 4 日と 11 月 8 日の「石組水路の一般公開」に当たっては延べ 10 名が協力した。

◇スタンプラリー・ハンズオン班

(活動者 124 名 延べ活動人数 3,585 名)

当館では 10 階・9 階・7 階の各展示場において、大阪の歴史に関するクイズを解きながら展示室を見学する子ども向けスタンプラリーを実施している。また常設展示場内での体験型事業（ハンズオン）を来館者向けに実施しており、その運営および説明と来館者への補助を行った。体験型事業（ハンズオン）は以下の 6 種類のほか、本年度開催した「浪花百景貝合わせ」で遊ぼう！（2 月 23 日・3 月 9 日）など時宜に応じた種目を織り交ぜている。

10 階：大宮人になってみよう！（奈良時代の官人の服を着る体験）／大極殿の土台をつくってみよう！（大極殿基壇を組み立てる立体パズル）

9 階：両替商になってみよう！（江戸時代の両替商を体験）／文楽人形をつかってみよう！（文楽人形の操り体験）

7 階：大阪名所双六をやってみよう！（明治時代の双六で遊ぶ）／きものを着てみよう！（昔の着物を着る体験）

●研修

ボランティア活動の充実と来館者へのサービス向上を目的として研修を実施した。

【平成 25 年度研修記録】

月日	研修内容	参加人数
6/15	むかしの瓦の拓本体験	23名
6/15・18	難波宮石組溝見学	38名・15名
8/6・10	常設展研修（10 階・9 階）	66名・44名
9/28・10/8	館外研修「長浜城歴史博物館と城下町の見学」	73名・57名
9/29	土人形マグネットをつくってみよう	13名
2/2	「浪花百景貝合わせ」で遊ぼう！	10名
2/4・8	ボランティア継続にともなう研修	103名・73名
3/4・8	館外研修「難波宮史跡公園と周辺」見学研修	42名・20名

●ボランティア懇談会、班別交流会

ボランティアと博物館側の意志疎通を円滑にし、よりよいボランティア活動を推進していく目的で、3 月 4 日・8 日にボランティア懇談会を開催した。また活動班ごとにボランティア間の交流を推進することを目的とした班別交流会を 10 月 1 日に開催した。

●平成 25 年度ボランティアの次年度継続

平成 25 年度に活動したボランティアの任期は、博物館の運営を委託されている指定管理者の交代時期に当たっていたことから、平成 26 年 3 月末までの 1 年間であった。次年度以降の継続意思を確認したところ、活動を希望するボランティアが 196 名あり新規募集を行わずとも事業の展開が可能であったため、平成 26 年度ボランティアの新規募集は行わなかった。継続希望者を対象に耳マーク・接遇などの研修を実施した。



長浜城歴史博物館と城下町の見学

広報宣伝活動

館活動を広く PR し、来館者を誘致するため、報道各社や雑誌・情報サイト等各方面へ積極的に情報提供を行い、交通機関等への広告の掲出も行った。主要な活動は下記のとおりである。

定例広報事業

●情報提供

各方面からの問い合わせにともなう本年度の情報提供件数は、特別展関係が 533 件、特集展示関係が 158 件、館全体に関する内容・その他が 70 件であった。

●印刷物の発行

昨年度に引き続き、年間展示予定表（1 回）・英語版年間展示予定表（1 回）・なにわ歴博カレンダー（46～49 号）を発行した。

●ホームページの公開

本年度は当館のホームページに 463,252 件（累計 3,598,187 件）、1 日平均 1,269 件のアクセスがあった（前年度比で約 140%）。また、1 日の最大接続件数は 3,309 件（5 月 2 日）であった。ホームページには本年度の特別展・特別企画展・特集展示の開催概要や出品資料などの情報と、各展覧会に関わる講演会をはじめとした関連イベントの案内情報を逐次公開しており、概ね特別展の開催期間や行楽シーズンに合わせてアクセスが増加する傾向がある。また、そのほかの各種普及事業に関わる案内をすべて掲載した。

このほかに携帯電話を対象とするモバイルサイト

（アクセス数は未集計、上記ホームページアクセス件数に含まず）や、外部サービスを利用した「なにわ歴博ブログ」・「なにわ歴史塾ブログ」を継続運用している。さらに特別展「変わり兜」ではブログを公開し博物館情報などを発信した。

その他の広報宣伝事業

●スタンプカード

来館者の利用促進をはかるため、「大阪歴史博物館スタンプカード」を実施している。常設展示・特別展等を観覧するとスタンプの押印が受けられ、6 個たまると小冊子『展示の見所』などと引き換えられるなどの特典がある。本年度はクリアファイルなどを特典に加えた。なお、特典の引き換え者は 866 名であった。

●なにわれきはく新聞

年に 4 回、小学校高学年と中学生を対象とした「なにわ歴博新聞」を発行している。入館時に小中学生全員に手渡す配布方法をとっている。3 ヶ月ごとの刊行で、B4 版両面印刷、各号 12,000 部、第 25 号から第 28 号までを発行した。内容はわくわく子ども教室の紹介、特別展等の案内、大阪ゆかりの人物紹介（なにわ人物誌）などである。

●関西文化の日への参加

平成 25 年度も「関西文化の日」への参加を行った。11 月 16 日（土）、17 日（日）の 2 日間について、常設展示の観覧料を無料とした。2 日間で計 4,553 名の観覧者があった。

刊行物

書名	概要	発行日
『大阪歴史博物館研究紀要 第 12 号』	A4 版 144 ページ	平成 26 年 2 月
『大阪歴史博物館館蔵資料集 10 建築部材』	A4 版 96 ページ	平成 25 年 12 月
『共同研究成果報告書 8』	A4 版 80 ページ	平成 26 年 3 月

調査研究活動

大阪歴史博物館調査研究事業

調査研究事業は、年々高まる市民の方々の歴史に対する関心に応えるため、日常的な資料調査やテーマ研究を通じて成果を蓄積し、広く都市大阪の歴史的特質の解明に関わる検討を行うことを目的としている。特に、当館においては、難波宮の置かれた古代、商工都市として栄えた近世・近代の大阪の研究を重視して、「難波宮研究」および「大阪学研究」を課題とする。今年度は、共同研究においては3テーマ、基礎研究においては3テーマを実施した。また、平成24年度で一区切りとなった研究課題「大阪の近代美術工芸—明治維新から昭和戦前期へ—」の成果を『共同研究成果報告書』8に収録した。

各研究テーマは以下のとおりである。

●共同研究

◇難波宮研究史—研究文献目録の作成—

担当：積山 洋、李 陽浩、寺井 誠、豆谷浩之、杉本厚典、村元健一、文珠省三、伊藤 純、加藤俊吾

◇新出安井家文書の研究

担当：西本菜穂子、八木 滋

外部研究員：塚田 孝（大阪市立大学大学院文学研究科教授）

◇高島多米治と下郷コレクションについて—余山貝塚資料—

担当：加藤俊吾

外部研究員：阿部芳郎（明治大学文学部教授）、栗島義明（埼玉県立さきたま史跡の博物館）、樋泉岳二（早稲田大学文学部兼任講師）

●基礎研究

◇船大工長谷川家文書の研究

担当：八木 滋

外部研究員：松村 博（元大阪市都市工学情報センター理事長）、松木 哲（神戸商船大学名誉教授）、植松清志（大阪人間科学大学教授）

◇大阪と江戸・東京との都市比較史研究

担当：豆谷浩之、飯田直樹

◇中村順平の建築作品に関する研究

担当：酒井一光

●難波宮跡の発掘調査

担当：李 陽浩・杉本厚典、高橋 工（大阪文化財研究所学芸員）

史跡難波宮跡公園の東側で発掘調査を実施した。調査地一帯は、平成21年度以来継続して調査している後期難波宮の東方官衙地域で、昨年度までに後期難波宮の建物基壇があることが明らかになっている。今年度の調査では、第2次調査（1954年に実施）で発見された土壇の南半部を確認できた。また、この土壇にそって瓦が堆積しているため、瓦葺の区画施設の一部と考えられる。なお、平成26年1月11日に現地説明会を開催し、630名の参加者を得た。

文部科学省科学研究費補助金による研究

◇基盤研究(C) 研究代表者：八木 滋「近世大阪における両替商の都市社会史的調査研究」

◇基盤研究(C) 研究代表者：寺井 誠「日本列島における出現期の甗の故地に関する基礎的研究」

◇若手研究(B) 研究代表者：岩佐伸一「近世日本絵画における寄合描きの基礎的研究」

学芸員個人の調査研究活動

伊藤廣之

- ・専攻分野
 - (1) 日本民俗学
 - (2) 環境民俗論、都市民俗論
 - (3) 淀川における河川漁撈の研究、大阪の巨樹信仰の研究
- ・著述
「河川漁撈研究の課題－研究史と研究課題－」『大阪歴史博物館研究紀要』第12号、平成26年2月
「コメント」『国際フォーラム在外資料の調査研究Ⅲ－バルト海域周辺地域の日本コレクション－』国立民族学博物館、平成26年3月
- ・口頭発表
「環境変化の中の内水面漁撈－淀川と巨椋池の漁業から－」近畿民俗学会10月例会、平成25年10月

文珠省三

- ・専攻分野
 - (1) 日本考古学
 - (2) 弥生時代研究
 - (3) 歴史資料を中心とした博物館展示の研究
- ・著述
「博物館における資料保存のための施設管理覚え書き」『大阪歴史博物館研究紀要』第12号、平成26年2月
「博物館の現状と課題」『博物館学ハンドブック1』関西大学出版部、平成26年3月
「コミュニケーションとしての展示」「展示の政治性と社会性」「収蔵庫及び展示室の環境」「メディアの意義」「情報の意義(視聴覚メディアの理論と歴史)」「メディアとしての博物館」「ICT 社会の中の博物館」「情報教育の意義と重要性」『博物館学ハンドブック2』関西大学出版部、平成26年3月

積山 洋

- ・専攻分野
 - (1) 考古学
 - (2) 東アジア都城、日本の塩業・漁業、牛馬、陶磁器など
- ・著述
『古代の都城と東アジア－大極殿と難波京－』清文堂出版、平成25年10月
「大阪湾周辺における律令期の塩業」『郵政考古紀要』第59号、郵政考古学会、平成26年3月
- ・口頭発表
「難波宮・難波京研究の新展開」第30回糸里制・古代都市研究会大会、奈良文化財研究所、平成26年3月
- ・シンポジウム
国際シンポジウム「東アジア古代都城の立地環境」奈良女子大学古代学学術研究センター、都城制研究会等が共催、奈良女子大学、平成25年12月

シンポジウム「難波宮と大化改新」大阪市博物館協会・公大学法人大阪市立大学、なにも活性化実行委員会など、大阪歴史博物館、平成26年2月

大澤研一

- ・専攻分野
 - (1) 日本中世史
 - (2) 都市史、宗教史
 - (3) 都市的集落の形成と変容過程・空間構造、経済・宗教機能、対外交流について
- ・著述
「上町台地の中世都市から大坂城下町へ」『中世都市研究18 中世都市から城下町へ』山川出版社、平成25年9月
「伏見組町名を載せる近世大坂絵図」『大阪歴史博物館研究紀要』第12号、平成26年2月
「描かれた淀川－イメージと実像のはざまで－」『河川文化』〈その41〉日本河川協会、平成26年3月
「並び立つ都市の時代－中世後期上町台地の様相－」『平成21～25年度(独)日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(A)大阪上町台地の総合的研究－東アジア史における都市の誕生・成長・再生の一類型－』平成26年3月
「上町に向かう道 熊野街道5～11」『うえまち』No. 97～99、101～108 平成25年4月～7月、9月～26年3月
- ・口頭発表
「豊臣期城下町の大名屋敷－再検討作業の中間報告－」大坂城下町研究会、平成25年8月
「文献史料からみた豊臣期大坂城下の大名屋敷－豊臣後期を中心に－」平成26年1月
「絵図・文献からさぐる豊臣期大坂城の構造」『連続講座 大阪城の地中を探る』平成26年3月

船越幹央

- ・専攻分野
 - (1) 日本文化史
 - (2) 近代都市における市民生活・文化・意識の研究
 - (3) 大阪・京都を中心としたツーリズムの研究
- ・著述
『新なにわ塾叢書5 大阪に東洋1の撮影所があった頃』(共著)ブレーンセンター、平成25年4月
「中之島の橋－景観に調和した「都市美」の粋－」『中之島今昔案内』第4号、大阪国際フォーラム、平成26年2月
『第5回大阪の問題集－大阪検定公式出題・解説集』(分担執筆)、創元社、平成26年2月

杉本厚典

- ・専攻分野
 - (1) 日本考古学
 - (2) 弥生土器・土師器の編年研究、GIS 考古学
- ・著述

「二重口縁壺の編年と分布ー河内地域の二重口縁壺の検討を中心にー」『大阪文化財研究所紀要』第15号、大阪文化財研究所、平成25年10月
「難波宮の区画施設、特に複廊について」『大阪歴史博物館研究紀要』第12号、平成26年2月
「原史・古代の大阪湾岸における都市的な状況と都市」『シンポジウム 大阪上町台地から都市を考える』大阪文化財研究所・大阪歴史博物館、平成25年12月

「原始・古代の大阪湾岸における集落分布と都市」『平成21～25年度(独)日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(A)大阪上町台地の総合的研究ー東アジア史における都市の誕生・成長・再生の一類型ー』平成26年3月

「元禄期大坂の産業マップ」『平成21～25年度(独)日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(A)大阪上町台地の総合的研究ー東アジア史における都市の誕生・成長・再生の一類型ー』平成26年3月

・口頭発表

「古墳時代・古代の刀子(とうす)についてー大阪市内出土品を中心にー」第24期いちょう大学「歴史と考古学」コース、城北市民学習センター、平成25年11月

「原始・古代の大阪湾岸における都市的な状況と都市」シンポジウム大阪上町台地から都市を考える、大阪歴史博物館、平成25年12月

飯田直樹

・専攻分野

- (1) 歴史学
- (2) 日本近現代史
- (3) 大阪を中心とした地域社会構造史、大阪相撲史、消防史

・著述

「近代大阪人の災害意識と地震時における避難行動ー「近現代大阪の地震」展を開催してー」『京都歴史災害研究』第15号、平成26年3月

・口頭発表

「幻の大阪大国技館と大阪相撲」城東区制70周年記念・アイラブ城北川ブランド化プロジェクト“幻の大阪大国技館と城北川歴史探訪”(主催:大阪市立城北市民学習センター・城東区役所、協力:旭区役所)、大阪市立城北市民学習センター、平成25年6月

「大坂を襲った大津波と先人の教訓」大阪土佐堀クラブ11月例会、大阪YMCA会館、平成25年11月

「大阪相撲の歴史」大相撲実況研究会、NHK大阪放送会館、平成26年3月

澤井浩一

・専攻分野

- (1) 畿内村落における祭祀組織の研究
- (2) 近畿地方を中心とした芸能史研究
- (3) 大正・昭和初期の大阪における興行史の研究

・著述

『特別展 手塚治虫×石ノ森章太郎 マンガのちから』

図録(分担執筆)、NHK プロモーション、平成25年6月

「浪花百景 川崎ノ渡シ月見景」『大阪松竹座七月興行番付』平成25年7月

『第5回大阪の問題集ー大阪検定公式出題・解説集』(分担執筆)、創元社、平成26年2月

『新課程 博物館学ハンドブック2』(分担執筆)、関西大学出版部、平成26年3月

・口頭発表

「せともの祭の造り物について」近畿民俗学会7月例会、大阪歴史博物館、平成25年7月

「瀬戸物問屋と民間信仰」シンポジウム「生業と民間信仰」パネラー、近畿民俗学会年次大会、大阪歴史博物館、平成26年1月

・調査活動

姫路市・射楯兵主神社 三ツ山大祭り調査、平成25年4月

大阪市内の獅子舞調査、平成25年7月

酒井一光

・専攻分野

- (1) 建築史
- (2) 歴史的建造物に関する研究
- (3) 近代建築・寺社建築

・著述

「再読・関西近代建築 泉布観・明治天皇記念館」『建築と社会』第1,093号、日本建築協会、平成25年4月

「船場の風景をつくる 近代建築ガイド」『大阪春秋』第150号、新風書房、平成25年4月

「建築家・中村順平の設計活動についての一考察」『日本建築学会近畿支部研究報告集』、日本建築学会、平成25年6月

『大阪歴史博物館館蔵 資料集 10 建築部材』大阪歴史博物館、平成25年12月

「中央電気倶楽部の建築について」『中央電気倶楽部百年史』、中央電気倶楽部、平成26年2月

「細部から発見する近代建築と都市の魅力」『産経新聞』、平成26年2月

「木津家に伝来する製図道具・建築図面に関する一考察」『共同研究成果報告書』8、大阪歴史博物館、平成26年3月

「新タイル建築探訪」『タイルの本』第64～75号、タイルの本編集室株式会社、平成25年4月～同26年3月

・口頭発表

「建築家・中村順平の設計活動についての一考察」日本建築学会近畿支部研究発表会、大阪工業技術専門学校、平成25年6月

「日本建築協会設立のころ 第五回内国博覧会から「大大阪」誕生へ」近畿産業考古学会、大阪教育大学、平成25年11月

・調査活動

中村順平設計の建築に関する調査(東京都大田区厳正寺、横浜市中区 クリフサイド)、平成26年3月

李 陽浩

- ・専攻分野
 - (1) 建築史、都市史
 - (2) 東アジア古代建築史
 - (3) 建築技法からみた難波宮の復元的研究
- ・著述
 - 「造営尺及び配置計画の検討」『北河堀町所在遺跡発掘調査報告』大阪文化財研究所、平成 25 年 10 月
- ・口頭発表
 - 「大化改新と宮殿建築の新しいカタチ」難波宮発掘調査 60 周年記念シンポジウム「難波宮と大化改新」、平成 26 年 2 月
 - 「古代東アジアの八角形建物とその平面形態」都城制研究会、平成 26 年 3 月

豆谷浩之

- ・専攻分野
 - (1) 日本近世史、近世考古学
 - (2) 近世都市史
 - (3) 大坂屋敷と都市建設の関係、大坂と江戸の都市比較
- ・著述
 - 「大阪・大坂城跡」『木簡研究』35 号、木簡学会、平成 25 年 11 月
 - 「江戸時代の上町台地」『平成 21～25 年度(独)日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(A)大阪上町台地の総合的研究—東アジア史における都市の誕生・成長・再生の一類型—』平成 26 年 3 月
- ・口頭発表
 - 「近世大坂の園芸史研究の現状」江戸東京博物館との共同研究会、平成 26 年 3 月
- ・調査活動
 - 江戸城下町の現地調査、平成 25 年 11 月

内藤直子

- ・専攻分野
 - (1) 美術史
 - (2) 刀装具を中心とした日本の工芸研究
- ・著述
 - 「秀吉から政宗への贈り物」産経エクスプレス、平成 25 年 10 月
 - 『『カッコイイ』マニアが絶賛』産経エクスプレス、平成 25 年 10 月
 - 『『神様』になった具足』産経エクスプレス、平成 25 年 10 月
 - 「茶人が愛した可憐な兜」産経エクスプレス、平成 25 年 10 月
 - 「雉子に見立てた太刀拵」産経エクスプレス、平成 25 年 10 月
 - 「琳派の源流にある鐔」産経エクスプレス、平成 25 年 10 月
 - 「エヴァンゲリオンから戦国アバンギャルドへ」『刀剣界』平成 25 年 11 月
 - 「特別展『変わり兜×刀装具』こぼればなし」『根付の雫』71 号、平成 26 年 3 月
 - 「三好木屑—平瀬露香に愛された名人指物師—

『共同研究調査報告書 8』、平成 26 年 3 月

- ・口頭発表
 - 「京金工の魅力と展開—一宮長常から阪井俊政まで—」平成 24 年度弥生文化博物館冬季企画展講演会、弥生文化博物館、平成 26 年 2 月
 - 「戦国～江戸時代にかけての武具アートの展開 変わり兜と刀装具」産経ウェブ鑑賞会、大阪歴史博物館、平成 26 年 11 月
 - 「ミタテのミカタ」トークショー(創作和菓子作家・日菓とのトークショー)、ミリバールギャラリー、平成 26 年 3 月

八木 滋

- ・専攻分野
 - (1) 日本近世史
 - (2) 流通社会史、都市史
 - (3) 市場社会、両替商、都市開発
- ・著述
 - 「近世前期道頓堀の開発過程—新出文書の検討から—」『大阪歴史博物館研究紀要』第 12 号、平成 26 年 2 月
 - 「一七世紀大坂道頓堀の開発と芝居地」『今後の近世大坂研究を展望する』塚田 孝・佐賀 朝・八木 滋編『近世身分社会の比較史』清文堂出版、平成 26 年 3 月
- ・口頭発表
 - 「17 世紀大坂の都市開発」釜山大学校韓国民族文化研究所・大阪市立大学都市文化研究センター第 4 回共同学術会議、大韓民国釜山大学校、平成 26 年 2 月

伊藤 純

- ・専攻分野
 - (1) 日本の歴史
- ・著述
 - 「正倉院宝物盗難事件に関する一史料—大阪府立中之島図書館蔵『南都東大寺宝物』の紹介—」『大阪歴史博物館研究紀要』第 12 号、平成 26 年 2 月
 - 『第 5 回大阪の問題集—大阪検定公式出題・解説集』(分担執筆)創元社、平成 26 年 2 月
 - 「天平章についての臆説—『天平十二年八月日』に込められた意味—」武田佐知子編『交錯する知—衣装・信仰・女性—』思文閣出版、平成 26 年 3 月
- ・その他
 - [大阪写真月間 2013 写真家 150 人の一坪展]に「大阪 渡船」出品 キヤノンギャラリー梅田 平成 25 年 5 月 30 日～6 月 5 日

寺井 誠

- ・専攻分野
 - (1) 考古学
 - (2) 弥生～飛鳥時代の日本列島と朝鮮半島の交流史
 - (3) 日本列島出土の朝鮮半島系甌の故地解明
- ・著述
 - 「甌の観察点—長原遺跡で出土した古墳時代中期の資料の検討を基に—」『大阪歴史博物館研究紀要』第 12 号、平成 26 年 2 月

「馬韓と倭をつなぐー巨済市鵝洲洞遺跡の検討を基にー」『東アジア古文化論攷』、平成 26 年 3 月
「西新町遺跡および朝鮮半島南部における網代状文タタキの系譜について」『韓式系土器研究』XIII、平成 26 年 3 月

- ・口頭発表
「白村江前後の朝鮮半島と日本」住吉かなえ会、市民交流センター住吉北、平成 25 年 6 月
「6・7 世紀の北部九州の須恵器に見られる朝鮮半島の要素」、第 25 回東アジア古代史・考古学研究会交流会、龍谷大学、平成 26 年 1 月
「外交の窓口難波を探る」平野住民大学、平野区画整理記念会館、平成 26 年 2 月
- ・調査活動
福岡市所蔵の朝鮮半島系土器の調査 平成 25 年 5 月
八尾市・御所市・奈良文化財研究所所蔵の朝鮮半島系土器の調査、平成 25 年 6 月
韓国全羅北道・全羅南道における原三国～三国時代の土器の調査・忠清南道扶餘郡での遺跡踏査、平成 25 年 10 月
※いずれも科学研究費補助金による調査

岩佐伸一

- ・専攻分野
(1)美術史
(2)日本絵画史
(3)江戸時代後期の上方絵画
- ・調査活動
近世期の寄合描き作例調査（京都市個人宅）、平成 25 年 5 月、12 月
近世期の寄合描き作例調査（京都市個人宅）、平成 26 年 1 月
※いずれも科学研究費補助金による調査

加藤俊吾

- ・専攻分野
(1)考古学・考古学史
(2)金属器生産に関わる研究
(3)古代～近世における鑄鏡研究

中野朋子

- ・専攻分野
(1)美術史・服飾史
(2)上代裂の文様研究、近世服飾史、結髪史
(3)近世後期の京坂における服飾・風俗動向、特に結髪を中心とした女性のよそおい文化についての調査研究
- ・著述
「鴻池家の茶の湯と道具蒐集」『淡交別冊 仕覆の楽しみ 再発見、茶道具を包む袋物』平成 25 年 11 月
「臨幸記念 名家秘蔵品展覧会」の開催と鴻池家による秘蔵品の出品『大阪歴史博物館研究紀要』第 12 号、平成 26 年 2 月
「昭和七年陸軍大演習における天覧と「清技会」ー昭和戦前期の大阪における美術工芸振興のかたちー」『共同研究調査報告書 8』、平成 26 年 3 月

- ・口頭発表
「藪 明山は「陶画工」か」伝統白薩摩研究会、平成 26 年 3 月

村元健一

- ・専攻分野
(1)歴史学
(2)古代の日中交渉
(3)難波宮と中国都城の比較研究
- ・著述
『漢書』百官公卿表訳注稿(七) 大川俊隆氏・門田明氏・吉村昌之氏・米田健志氏との共訳、『大阪産業大学論集 人文・社会科学編』18、平成 25 年 6 月
『漢書』百官公卿表訳注稿(八) 大川俊隆氏・門田明氏・吉村昌之氏・米田健志氏との共訳『大阪産業大学論集 人文・社会科学編』19、平成 25 年 10 月
『漢書』百官公卿表訳注稿(九) 大川俊隆氏・門田明氏・吉村昌之氏・米田健志氏との共訳、『大阪産業大学論集 人文・社会科学編』18、平成 26 年 2 月
「発掘成果から見た平安時代の上町台地とその周辺」『平成 21～25 年度(独)日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(A)大阪上町台地の総合的研究ー東アジア史における都市の誕生・成長・再生の一類型ー』平成 26 年 3 月
「北齊の晋陽一鄴との比較を中心にー」『平成 21～25 年度(独)日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(A)大阪上町台地の総合的研究ー東アジア史における都市の誕生・成長・再生の一類型ー』平成 26 年 3 月
(翻訳) 齊東方氏「中国都城の立地環境」第 8 回国際シンポジウム東アジア古代都城の立地環境 配布資料、平成 25 年 12 月
- ・口頭発表
「難波宮の立地環境」第 8 回国際シンポジウム東アジア古代都城の立地環境、奈良女子大学、平成 25 年 12 月
「発掘成果から見た平安時代の上町台地とその周辺」シンポジウム大阪上町台地から都市を考える、大阪歴史博物館、平成 25 年 12 月

西本菜穂子

- ・専攻分野
(1)日本近世史
- ・著述
「大坂三郷質屋仲間の盗品調査」『大阪歴史博物館研究紀要』第 12 号、平成 25 年 2 月
- ・口頭発表
「近世大坂における質屋の特質ー比較史に向けて」近世大坂研究会・都市研究プラザ都市論ユニット・都市文化研究センター主催 近世大坂研究会国際小円座『質屋・質業の比較史に向けて』大阪市立大学、平成 26 年 2 月

委嘱・派遣依頼対応

委嘱

日 付	名 称	担当者
平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日	国際日本文化研究センター共同研究員	脇田 修
平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日	文楽因協会理事	脇田 修
平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日	山口県史編纂委員会副会長	脇田 修
平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日	金沢城調査研究会委員	脇田 修
平成25年 4月 1日～平成25年12月31日	人間文化研究機構 日本関連在外資料調査研究事業中間実績評価委員会委員	伊藤廣之
平成25年 4月 1日～平成27年 3月31日	関西大学都市遺産研究センター非常勤研究員	澤井浩一
平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日	和泉市教育委員会 和泉市史編さん調査執筆委員	飯田直樹
平成25年 7月 3日	独立行政法人国立文化財機構 京都国立博物館 列品等修理請負候補者選定委員会委員	中野朋子
平成25年 7月16日	広島「KAZARU展」実行委員会『広島「KAZARU」展』コンクール審査員	内藤直子
平成25年 7月23日	愛媛県立松山南高等学校 SSH事業「四国・関西研修」	酒井一光
平成25年 8月 1・2日	お守り刀展覧会実行委員会「お守り刀展覧会」作品審査委員	内藤直子
平成25年 8月 1日～平成27年 7月31日	香芝市教育委員会 香芝市文化財保護審議会委員	伊藤 純
平成25年11月 1日～平成27年10月31日	吹田市教育委員会 吹田市立博物館協議会委員	伊藤廣之
平成26年 2月～	大阪市中央公会堂 常設展・特別展の企画業務	酒井一光
平成25年 5月30日～平成27年 3月31日	明治大学大久保忠和考古学振興基金 下郷コレクション共同研究	加藤俊吾

大学での非常勤講師への派遣

大 学 名	科 目 等	担当者
同志社大学	文化史基礎演習	船越幹央
大阪芸術大学	服飾史	中野朋子
大阪大学	博物館学概論	澤井浩一
帝塚山学院大学	文化と歴史（アジア）－I	積山 洋
関西大学	博物館実習	文珠省三
神戸学院大学	歴史文化特別講義 I	村元健一

派遣依頼対応

日 付	派 遣 先	担 当 者
平成25年 4月10日	大阪市人事室／平成 25 年度新採用者・新転任者研修	船越幹央
平成 25 年4月 20日・5月 18日・6月15日・7月20日・8月 17日・9月21日・10月19日・11月16日・12月21日・平成26年1月18日・2月15日・3月15日	喜連村史の会／古文書勉強会	豆谷浩之
平成25年 5月16日	大阪文化財研究所／大阪市立市民交流センターすみよし北における平成 25 年度春講座	村元健一
平成25年5月17日・7月19日	NPO 法人大阪府高齢者大学校／平成 25 年度歴史学近代科	飯田直樹
平成25年 5月23日	大阪観光コンベンション協会／大阪観光ボランティアガイド協会研修会	豆谷浩之
平成25年 6月 6日	大阪市職員人材開発センター／平成 25 年度事業担当主事補共通実務研修	大澤研一
平成25年 6月 8日	国土交通省近畿地方整備局 淀川河川事務所／平成 25 年度淀川発見講座	大澤研一・八木 滋
平成25年 6月11日	大阪市立城北市民学習センター／しろきた市民セミナー	飯田直樹
平成25年 6月16日	木津川市教育委員会／木津川市ふれあい文化講座	積山 洋
平成25年 6月20日	かなえ会／大阪市立市民交流センターすみよし北における平成 25 年度秋講座	寺井 誠
平成25年 6月25日	大阪経済法科大学／河内学ゲストスピーカー	八木 滋
平成25年 7月 6日	大阪市港区役所／築港・天保山エリア歴史まち歩きツアー	酒井一光
平成25年 8月19日	大阪市経済戦略局／近代文化遺産 WG	酒井一光
平成25年 9月18日	KKR ホテル大阪／歴史講座	八木 滋
平成25年 9月25日	TKC 近畿大阪会資産税活用委員会・大和部会／資産活用セミナー	村元健一

日付	派遣先	担当者
平成25年10月23日	NPO 法人シニア自然大校校／シニア CITY カレッジ歴史講座	村元健一
平成25年11月 2日	大阪旅∞（めがね）事務局／大阪旅 ∞プレミアムツアー	酒井一光
平成25年11月22日	大阪市立総合生涯学習センター／平成 25 年度いちょう大学 歴史と考古学	杉本厚典
平成25年11月23日	船場地区 HOPE ゾーン協議会／船場で愉しむまちなみパーツ	酒井一光
平成25年11月15日	ユネスコ・アジア文化センター／文化遺産の保護に資する研修 2013	豆谷浩之
平成25年11月30日	大阪市立大学／全学共通科目 歴史のなかの大阪	八木 滋
平成25年12月 1日	大阪市東住吉区／東住吉区連続歴史講座	積山 洋
平成25年12月 4日・11日	大阪観光コンベンション協会／大阪観光ボランティアガイド協会研修会	船越幹央・杉本厚典
平成26年 2月14日	平野区画整理記念会館／平成 25 年度住民大学講座	寺井 誠
平成26年 2月25日	KKR ホテル大阪／歴史講座	伊藤 純
平成26年 2月27日	大阪商工会議所／第 20 回大阪検定作問委員会	酒井一光
平成26年 3月 8日	NHK 大阪放送局編集部／大相撲実況研究会	飯田直樹
平成26年 3月 9日	東大阪文化財を学ぶ会／講演会 難波宮発掘の歴史と当時の古代史	李 陽浩
平成26年 3月14日	平野区画整理記念会館／平成 25 年度住民大学講座	積山 洋
平成26年 3月15日・16日・17日	大阪市経済戦略局／泉布観一般公開	酒井一光・飯田直樹 船越幹央
平成26年 3月20日	東京都江戸東京博物館都市歴史研究室／共同研究会比較都市研究 江戸と大阪	豆谷浩之・飯田直樹
平成26年 3月23日	有限会社アートニクス／トークイベント 和菓子のふくらみ	内藤直子
平成26年 3月28日	大阪商工会議所／第 21 回大阪検定作問委員会	船越幹央

視察対応一覧

日付	来訪者	人数	担当者
平成25年 4月 1日	タイ国バンコク都ブラカノーン行政区長一行	43	伊藤廣之
平成25年 4月25日	竹内街道・横大路～難波から飛鳥へ日本最古の官道（大道）1400 年活性化実行委員会	39	船越幹央
平成25年 5月 1日	中華人民共和国河南博物院・文物保護センター	2	李 陽浩
平成25年 5月27日	ベトナム社会科学院	8	積山 洋
平成25年 6月 9日	山形県議会	5	文珠省三
平成25年 6月 9日	高麗大学文化芸術最高位課程修学者	20	大澤研一
平成25年 7月17日	竹内街道 1400 年活性化実行委員会	52	伊藤廣之
平成25年11月22日	河南省文物考古研究院	7	寺井 誠
平成25年12月 4日	ソウル特別市文化観光デザイン本部文化系技課	1	文珠省三

平成25年度 大阪歴史博物館入場者数

月	平成 25 年度 常設展					平成 25 年度 特別設展					合計	その他入場
	有料		有料計	無料観覧者	常設展計	有料		有料計	無料観覧者	特別展計		
	一般	高・大生				一般	高・大生					
4	9,425	1,498	10,923	5,027	15,950	6,198	645	6,843	3,073	9,916	25,866	5,254
5	10,666	1,849	12,515	10,274	22,789	22,216	2,159	24,375	15,155	39,530	62,319	7,519
6	9,974	961	10,935	5,846	16,781	10,766	1,936	12,702	5,816	18,518	35,299	7,488
7	12,366	891	13,257	4,989	18,246	11,032	1,213	12,245	4,821	17,066	35,312	9,068
8	14,051	1,219	15,270	6,645	21,915	13,625	2,386	16,011	5,851	21,862	43,777	6,319
9	10,204	621	10,825	4,530	15,355	9,038	1,410	10,448	3,297	13,745	29,100	6,685
10	9,729	1,212	10,941	8,784	19,725	0	0	0	0	0	19,725	5,164
11	8,117	663	8,780	21,490	30,270	10,255	704	10,959	18,270	29,229	59,499	8,620
12	7,190	469	7,659	6,853	14,512	4,035	298	4,333	4,961	9,294	23,806	6,440
1	8,390	471	8,861	6,110	14,971	2,707	207	2,914	4,997	7,911	22,882	5,217
2	10,176	524	10,700	8,102	18,802	5,960	548	6,508	8,449	14,957	33,759	6,522
3	10,533	472	11,005	6,487	17,492	3,035	349	3,384	4,010	7,394	24,886	7,915
合計	120,821	10,850	131,671	95,137	226,808	98,867	11,855	110,722	78,700	189,422	416,230	82,211

*その他入場者数には、2・4 階貸室利用者数、4 階講堂での各種講演会・イベント参加者数、1 階エントランスでのわくわく子ども教室」参加者数などが含まれる。

条 例 と 規 則

○大阪歴史博物館条例

平成 13 年 4 月 1 日
条例第 60 号
大阪歴史博物館条例を公布する。
大阪歴史博物館条例

(設置)

第 1 条 大阪歴史博物館（以下「博物館」という。）を大阪市中央区大手前 4 丁目に設置する。

(目的)

第 2 条 博物館は、大阪の歴史及び文化に関する資料の収集、保管及び展示並びにその調査研究及び普及活動を行うとともに、市民の生涯にわたる学習活動を支援することにより、市民の文化と教養の向上及び学術の発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第 3 条 博物館は、前条の目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 大阪の歴史及び文化に関する実物、標本、模写、模型、文献、図書、図表、写真、フィルム等（以下「博物館資料」という。）を収集し、保管し、展示し、及び閲覧させること
- (2) 大阪の歴史及び文化に関する展覧会、講演会、講習会、研究会等を開催すること
- (3) 市民の生涯学習の機会を提供すること
- (4) 大阪の歴史及び文化に関する相談を受け、及び情報を提供すること
- (5) 博物館資料を貸し出すこと
- (6) 博物館資料及び遺跡に関する調査研究を行うこと
- (7) 他の博物館、学校、学会その他の国内外の関係機関と連携し、及び協力すること
- (8) その他教育委員会が必要と認める事業

(資料の寄贈又は寄託)

第 4 条 博物館は、博物館資料の寄贈又は寄託を受けることができる。

(休館日)

第 5 条 博物館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 火曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たるときは、その日後最初に到来する休日以外の日）
- (2) 12 月 28 日から翌年 1 月 4 日まで

2 前項の規定にかかわらず、第 15 条の規定により博物館の管理を行うもの（以下「指定管理者」という。）は、博物館の設備の補修、点検若しくは整備、天災その他やむを得ない事由があるとき又は博物館の効用を発揮するため必要があるときは、あらかじめ教育委員会の承認を得て、同項の規定による休館日を変更し、又は臨時的休館日を定めることができる。

3 教育委員会は、前項の承認を行ったときは、速やかに当該承認を行った内容を公告しなければならない。

(供用時間)

第 6 条 博物館の供用時間は、午前 9 時 30 分から午後 5 時までとする。

2 前条第 2 項及び第 3 項の規定は、博物館の供用時間について準用する。この場合において、同条第 2 項中「前項」とあるのは「第 6 条第 1 項」と、「休館日を変更し、又は臨時的休館日を定める」とあるのは「供用時間を変更する」と、同条第 3 項中「前

項」とあるのは「第 6 条第 2 項の規定により読み替えられた第 5 条第 2 項」と読み替えるものとする。

(使用の許可)

第 7 条 別表第 1（省略）に掲げる博物館の施設（以下「施設」という。）を使用しようとする者は、指定管理者の許可を受けなければならない。

(使用許可の制限)

第 8 条 次の各号のいずれかに該当するときは、指定管理者は、施設の使用を許可してはならない。

- (1) 公安又は風俗を害するおそれがあるとき
- (2) 建物、設備又は展示品等を損傷するおそれがあるとき
- (3) 管理上支障があるとき
- (4) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成 3 年法律第 77 号）第 2 条第 2 号に規定する暴力団の利益になるとき
- (5) その他不相当と認めるとき

(使用許可の取消し等)

第 9 条 次の各号のいずれかに該当するときは、指定管理者は、施設の使用の許可を取り消し、その使用を制限し、若しくは停止し、又は退館を命ずることができる。

- (1) 偽りその他不正の手段により第 7 条の許可（以下「使用許可」という。）を受けたとき
- (2) 前条各号に定める事由が発生したとき
- (3) この条例に違反し、又はこの条例に基づく指示に従わないとき

(意見の聴取)

第 10 条 指定管理者は、必要があると認めるときは、第 8 条第 4 号に該当する事由の有無について、大阪府警察本部長の意見を聴くよう教育委員会に求めるものとする。

2 教育委員会は、前項の規定による求めがあったときは、第 8 条第 4 号に該当する事由の有無について、大阪府警察本部長の意見を聴くことができる。

(入館の制限)

第 11 条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、入館を断り、又は退館させることができる。

- (1) 他人に危害を及ぼし、又は迷惑となる行為をするおそれがある者
- (2) 建物、設備又は展示品を損傷するおそれがある者
- (3) 他人に危害を及ぼし、若しくは他人に迷惑となる物品又は動物を携行する者
- (4) 管理上必要な指示に従わない者
- (5) その他管理上支障があると認める者

(特別研究の許可)

第 12 条 博物館資料について特別の研究をしようとする者は、指定管理者の許可を受けなければならない。

(貸出しの許可)

第 13 条 博物館資料の貸出しを受けようとする者は、指定管理者の許可を受けなければならない。

(利用料金)

第 14 条 教育委員会は、指定管理者に利用料金（博物館の観覧に係る料金（以下「観覧料」という。）、博物館資料の貸出しに係る料金（以下「貸出料」という。）並びに施設及びその附属設備の使用に係る料金（以下「施設使用料」という。）をいう。以下同じ。）を当該指定管理者の収入として収受させるものとする。

2 博物館を観覧し、博物館資料の貸出し（他の博物館、学校、学

- 会その他の国内外の関係機関との連携及び協力に係るものを除く。)を受け、又は施設及びその附属設備を使用しようとする者は、指定管理者に利用料金を支払わなければならない。ただし、学校教育法(昭和22年法律第26号)第17条第1項に定める小学校就学の始期に達しない者、小学校(これに準ずるものを含む。)の児童及び中学校(これに準ずるものを含む。)の生徒に係る観覧料については、この限りでない。
- 3 利用料金の額は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める金額の範囲内において、指定管理者があらかじめ教育委員会の承認を得て定める。利用料金の額を変更しようとするときも、同様とする。
- (1) 観覧料 1人1回につき別表第2に掲げる金額
 - (2) 貸出料 その都度教育委員会が定める額
 - (3) 施設使用料 別表第1(省略)に掲げる金額(施設の附属設備については、教育委員会規則で定める種別に応じて教育委員会規則で定める金額)
- 4 日曜日、土曜日及び休日における施設の使用に係る施設使用料の額は、前項の規定による金額の2割増しの範囲内において、指定管理者があらかじめ教育委員会の承認を得て定める。当該施設使用料の額を変更しようとするときも、同様とする。
- 5 施設の使用許可を受けた者(以下「使用者」という。)が入場料その他これに類する料金を徴収する場合における施設の使用に係る施設使用料の額は、前2項の規定による金額の5割増しの範囲内において、指定管理者があらかじめ教育委員会の承認を得て定める。当該施設使用料の額を変更しようとするときも、同様とする。
- 6 教育委員会は、前3項の承認(貸出料の額に係るものを除く。)を行ったときは、速やかに当該承認を行った利用料金の額を公告するものとする。
- 7 指定管理者は、教育委員会が公益上の必要その他特別の事由があると認めるときは、利用料金を減額し、又は免除することができる。
- 8 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当するときは、既納の利用料金の全部又は一部を還付することができる。
- (1) 災害その他使用者の責めに帰すことのできない特別の事由により施設を使用することができなくなったとき
 - (2) 使用者が施設の使用を開始する前に使用許可の取消しを申し出た場合において、指定管理者がその理由を相当と認めて当該使用許可を取り消したとき
 - (3) その他教育委員会が特別の事由があると認めるとき(管理の代行)
- 第15条 博物館の管理については、地方自治法(昭和22年法律第67号。以下「法」という。)第244条の2第3項の規定により、法人その他の団体(以下「法人等」という。)であって教育委員会が指定するものに行わせる。
(指定の申請)
- 第16条 教育委員会は、指定管理者を指定しようとするときは、博物館の管理を行おうとする法人等を指名し、当該法人等に対し、その旨を通知しなければならない。
- 2 前項の規定による通知を受けた法人等は、教育委員会規則で定めるところにより、博物館の管理に関する事業計画書その他教育委員会規則で定める書類を添付した指定管理者指定申請書を教育委員会に提出しなければならない。
(欠格条項)
- 第17条 次の各号のいずれかに該当する法人等は、指定管理者の指定を受けることができない。
- (1) 破産者が復権を得ないもの
 - (2) 法第244条の2第11項の規定により本市又は他の地方公共団体から指定を取り消され、その取消しの日から2年を経過

しないもの

- (3) その役員(法人でない団体で代表者又は管理人の定めがあるものの代表者又は管理人を含む。)のうちに、次のいずれかに該当する者があるもの
 - ア 第1号に該当する者
 - イ 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から2年を経過しない者
 - ウ 公務員で懲戒免職の処分を受け、その処分の日から2年を経過しない者(指定管理予定者の選定)

第18条 教育委員会は、第16条第2項の規定による申請の内容が次に掲げる基準に適合すると認めるときでなければ、当該申請をした法人等を指定管理者の指定を受けるべきもの(以下「指定管理予定者」という。)として選定してはならない。

- (1) 住民の平等な利用が確保されること
 - (2) 第2条の目的に照らし博物館の効用を十分に発揮するとともに、博物館の管理経費の縮減が図られるものであること
 - (3) 博物館の管理の業務を安定的に行うために必要な経理的基礎及び技術的能力を有すること
 - (4) 前3号に掲げるもののほか、博物館の適正な管理に支障を及ぼすおそれがないこと
- (指定管理者の指定等の公告)

第19条 教育委員会は、指定管理予定者を指定管理者に指定したときは、その旨を公告しなければならない。法第244条の2第11項の規定により指定管理者の指定を取り消し、又は博物館の管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じたときも、同様とする。

(業務の範囲)

第20条 指定管理者が行う業務の範囲は、次のとおりとする。

- (1) 第3条各号に掲げる博物館の事業の実施に関すること
 - (2) 建物及び設備の維持保全に関すること
 - (3) その他博物館の管理に関すること
- (施行の細目)

第21条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則(平成13年11月3日施行、告示第1155号)抄
(施行期日)

- 1 この条例の施行期日は、市長が定める。
(大阪市立博物館条例の廃止)

- 2 大阪市立博物館条例(昭和35年大阪市条例第35号)は、廃止する。

附 則(平成17年9月22日条例第108号、附則ただし書に規定する改正規定を除くその他の改正規定、平成18年4月1日施行、告示第342号)

この条例の施行期日は、市長が定める。ただし、第18条の次に6条を加える改正規定(第20条から第22条まで及び第23条前段に係る部分に限る。)は、公布の日から施行する。

附 則(平成19年12月28日条例第106号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則(平成21年11月26日条例第129号)

- 1 この条例は、平成22年4月1日から施行する。ただし、第8条中第3号の次に1号を加える改正規定及び第9条の次に1条を加える改正規定は、平成22年1月1日から施行する。

- 2 この条例による改正後の大阪歴史博物館条例(以下「改正後の条例」という。)第14条第3項から第5項までの規定による利用料金の額の決定及びこれに関し必要な手続その他の行為は、この条例の施行前においても、これらの規定及び改正後の条例第14条第6項の規定の例により行うことができる。

別表第2

	区 分	普通 観覧料	団体(20人以上) 観覧料
常設展示室	高等学校、高等専門学校、 及びこれに準ずる教育大 学施設に在学する者	400円	360円
	その他の者	600円	540円
特別展示室	高等学校、高等専門学校、 及びこれに準ずる教育大 学施設に在学する者	1,600円	1,440円
	その他の者	2,400円	2,160円

○大阪歴史博物館条例施行規則

平成18年3月31日

(教)規則第5号

大阪歴史博物館規則(平成13年大阪市教育委員会規則第34号)を次のように改正する。

大阪歴史博物館条例施行規則
(趣旨)

第1条 この規則は、大阪歴史博物館条例(平成13年大阪市条例第60号。以下「条例」という。)の施行について必要な事項を定めるものとする。

(博物館資料の寄贈等の申出)

第2条 条例第4条の規定により大阪歴史博物館(以下「博物館」という。)に条例第3条第1号の博物館資料(以下「博物館資料」という。)を寄贈し、若しくは寄託し、又は寄託した博物館資料(以下「寄託資料」という。)の返還を受けようとする者は、教育委員会の定めるところに従い、教育委員会に申し出なければならない。

(寄託資料の取扱い)

第3条 寄託資料の管理は、特別の契約がある場合を除き、本市所有の博物館資料と同じ取扱いとする。

2 寄託資料が災害その他の不可抗力によって滅失又は損傷したときは、本市は損害賠償の責めを負わないものとする。

(利用料金の納付時期)

第4条 条例第14条第1項に規定する利用料金(以下「利用料金」という。)は、あらかじめ条例第5条第2項に規定する指定管理者(以下「指定管理者」という。)が定める日までに支払わなければならない。

(附属設備の利用料金)

第5条 条例第14条第3項の教育委員会規則で定める附属設備の種類及び金額は、別表(省略)のとおりとする。

(指定申請の方法)

第6条 条例第16条第1項の規定による通知を受けた法人等(法人その他の団体をいう。以下同じ。)は、所定の指定管理者指定申請書に法人等の名称、主たる事務所の所在地、代表者の氏名並びに担当者の氏名及び連絡先を記載して、教育委員会が指定する期間内にこれを教育委員会に提出しなければならない。

2 前項の申請書には、次に掲げる書類を添付しなければならない。

- (1) 定款又は寄附行為及び登記事項証明書(法人以外の団体にあつては、これらに相当する書類)
- (2) 役員(法人でない団体で代表者又は管理人の定めがあるものの代表者又は管理人を含む。)の名簿及び履歴書
- (3) 条例第16条第2項の規定による申請(以下「指定申請」という。)の日の属する事業年度の前3事業年度における財産目録及び貸借対照表(法人以外の団体にあつては、これらに相当する書類)。ただし、指定申請の日の属する事業年度に設立

された法人等にあつては、その設立時における財産目録(法人以外の団体にあつては、これに相当する書類)とする。

- (4) 指定申請の日の属する事業年度における事業計画書及び収支予算書(法人以外の団体にあつては、これらに相当する書類)
- (5) 組織及び運営に関する事項を記載した書類
- (6) 指定申請に関する意思の決定を証する書類
- (7) 条例第17条各号のいずれにも該当しないことを信じさせるに足る書類
- (8) 指定管理者の指定を行おうとする期間に属する各年度ごとの博物館の管理に関する事業計画書及び収支予算書
- (9) 博物館の管理の業務を安定的に行うことができることを示す書類
(資料の提出の要求等)

第7条 教育委員会は、条例第18条に規定する指定管理予定者を選定するため必要があると認めるときは、指定申請をした法人等に対し、必要な資料の提出及び説明を求めることができる。
(事業報告書の記載事項等)

第8条 地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第7項の事業報告書(以下「事業報告書」という。)には、次に掲げる事項を記載し、指定管理者の代表者がこれに記名押印しなければならない。

- (1) 指定管理者の名称、主たる事務所の所在地、代表者の氏名並びに担当者の氏名及び連絡先
- (2) 年度の区分。ただし、指定管理者の指定を受けた期間が当該年度の一部の期間であるときは、当該期間を併せて記載すること
- (3) 条例第20条各号に掲げる業務の実施状況
- (4) 博物館の利用者数その他の利用状況
- (5) 博物館の管理に要した経費等の収支の状況
- (6) その他教育委員会が必要と認める事項

2 指定管理者は、毎年度終了後(地方自治法第244条の2第11項の規定により指定管理者の指定の取消しを受けた場合にあつては、当該取消しの日後)2月以内に教育委員会に事業報告書を提出しなければならない。ただし、やむを得ない理由により当該2月以内に事業報告書の提出をすることができない場合には、あらかじめ教育委員会の承認を得て当該提出を延期することができる。

(損害賠償等)

第9条 博物館の施設の使用の許可を受けた者、入館者又は博物館資料について特別の研究若しくは貸出しの許可を受けた者が建物、設備又は博物館資料を損傷し、又は亡失したときは、教育委員会の定めるところに従い、これを原状に復し、又はその損害を賠償しなければならない。

(補助執行)

第10条 市長の事務部局の職員をして博物館の運営に係る事務を補助執行させることとした場合においては、第11条の規定中「教育長」とあるのは、「主管局長(大阪府事務分掌条例第1条に掲げる局長及び室の長をいう。)」と読み替えるものとする。

(施行の細目)

第11条 この規則の施行について必要な事項は、教育長が定める。
附 則

- 1 この規則は、平成18年4月1日から施行する。
 - 2 大阪歴史博物館の指定管理者の指定手続に関する規則(平成17年大阪市教育委員会規則第26号)は、廃止する。
- 附 則(平成22年3月26日(教)規則第11号)
この規則は、平成22年4月1日から施行する。

運 営 組 織

運 営

大阪歴史博物館は、公益財団法人大阪市博物館協会が指定管理者として、管理代行を行った。

組 織

館長 脇田 修
副館長兼総務課長 森永公子

総務課
係長 藤田正和
係員 塩野正雄 高浜さゆり
川端優子 勝本千賀

運営課
課長 文珠省三（公益財団法人大阪市博物館協会総務部と兼務）

企画広報課
課長 大澤研一（公益財団法人大阪市博物館協会総務部と兼務）

企画広報係 係長 船越幹央
係員 杉本厚典 飯田直樹
柴田晃子
情報資料係 係長 澤井浩一
主任学芸員 酒井一光
係員 李 陽浩
小林佳美 宮下愛子

学芸課
課長 伊藤廣之
課長代理 積山 洋
学芸第1係 係長 豆谷浩之
係員 内藤直子 八木 滋
学芸第2係 係長 伊藤 純
係員 寺井 誠 岩佐伸一
学芸第3係 係長 加藤俊吾
係員 中野朋子 村元健一
西本菜穂子 柴田善美

人 事

転入
学芸課学芸第3係 村元 健一
公益財団法人大阪市博物館協会大阪文化財
研究所 （平成25年4月1日）

退職
館長 脇田 修
（平成26年3月31日）

副館長兼総務課長 森永公子
（平成26年3月31日）

運営課 課長 文珠省三
（平成26年3月31日）

学芸課 課長代理 積山 洋
（平成26年3月31日）
学芸第3係 西本菜穂子
（平成26年3月31日）

大阪歴史博物館 施設の概要

大阪歴史博物館はNHK新大阪放送会館と同時に建設された。地下は一体の構造で、地上ではガラス張りのドーム構造となるアトリウムを共有施設とするなどの特徴がある。

博物館は地上13階の高層建築物であるため、各施設をフロア別に分散し、常設展示場は10～7階、特別展示場は6階に配している。そのほか、講堂・研修室が4階に、学習情報センター「なにわ歴史塾」が2階にある。

また、南側の敷地は国指定史跡である難波宮跡の一角にあたり、公園として整備されている。さらに、北東には国指定特別史跡である大坂城跡があってさまざまな歴史的景観を眺望することができる。

建物と構造

敷地面積：12,999.93 m²

構造：鉄骨鉄筋コンクリート造および鉄骨造
地上13階（地上84.34m）、地下3階

延床面積：23,606.54 m²（専有部）

18,989.08 m²（共有部）

展示面積：4,118.04 m²（常設展示）

892.64 m²（特別展示）

収蔵面積：2,188.11 m²

(2,126.34 m²：第1～8収蔵庫)

(61.77 m²：写真収蔵庫)

地震対策：制震構造（建物）

免震装置（展示ケース）

フロア概要

10～7階：常設展示「都市おおさかの歩み」

10階は地上56.70m

6階：特別展示（自主企画・共催巡回展など）

4階：講堂・研修室など

2階：学習情報センター「なにわ歴史塾」（無料）

1階：入場口・総合案内・ミュージアムショップ・レストラン・万国博覧会タイムカプセル

その他

バリアフリー・盲導犬対応（全フロア）

トイレ（ベビーシート・ベビーチェア付車椅子対応トイレ：全フロア）

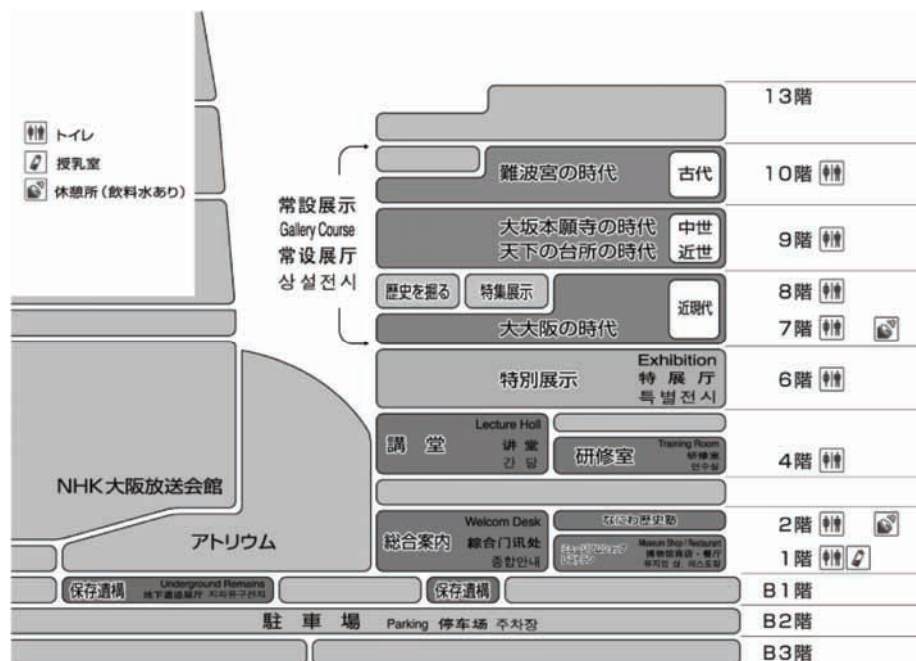
（オストメイト対応トイレ：1階）

休養室（1階）

授乳室（1階）／コインロッカー（1階）

休憩コーナー（2・7階）

車椅子・ベビーカー（貸出無料）



フロア一覧図

大阪歴史博物館年報 平成 25 年度

平成 26 年 6 月 18 日発行©

編集・発行 大阪歴史博物館

〒540-0008 大阪市中央区大手前4丁目1-32

印刷・製本 前田印刷株式会社

〒550-0011 大阪市西区阿波座1丁目5番2号
第4富士ビル3F

ANNUAL REPORT
of
Osaka Museum of History
Jun. 2014